

風雅 (ふうが) 〈木粉配合樹脂〉

- このたびは、当社製品をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。
- この取付説明書の内容は、製品を安全に正しく施工していただき、施主様等の危害や損害を未然に防止するためのものです。内容を良くご理解いただき、本書の内容(指示)にしたがってください。

施工を始める前に

- 製品の施工には、危険を伴う場合がありますので、必ず専門の工事業者による施工をお願いします。
 - 本製品は一般住宅の一階相当分施工用です。それ以外の場所への取付けはしないでください。
- ①部材変形防止のため、製品保管状況を確認してください。
 - ・当製品は、木粉入り高密度樹脂製のため、熱変形することがあります。取扱いには十分注意してください。
 - ・平らな場所に平置きしてください。栈木の上に乘せると、反りが発生する場合があります。
 - ・暖房機や焚き火近くの高温になる場所には保管しないでください。
 - ・製品の上に重量物を長時間重ね置きしないでください。
 - ②設置場所を確認してください。
 - ・給湯器や暖房機などの熱排気が製品に直接当たらないように施工してください。熱排気による部材の変形・劣化のおそれがあります。
 - ・施工場所に寸法的に正しく納まるか、事前に十分確認をしてください。決して床板は幅詰切断はしないでください。
 - ③人工木は表面に研磨加工処理を施してありますので、床板の施工方向によっては色調に濃淡がでます。本説明書に従い、向きをそろえて施工してください。
 - ④正しく施工・組付けをするために、施工前に必ず取付説明書をお読みください。
 - ⑤デッキ上にフェンスを設置する場合、フェンスの取付説明書をあらかじめ確認し、その指示にしたがってください。
 - ⑥施工プランと必要部材が揃っているか確認してください。
 - ⑦市販のサンドペーパーを利用する場合は、浅い傷の場合#60～100・深い傷の場合#24～40を用いてください。
 - ⑧施工終了後、取扱説明書は施主様にお渡しください。

⚠ 施工上のご注意

- 束柱間の距離：**1,800 mm max**
- 束柱からの大引持ち出し：**200 mm max**
- 基礎石は指定寸法以上のものを使用し、確実に設置してください。
- コンクリートまたはモルタルには、塩分を含む砂(海砂)および塩素系や強アルカリ系のコンクリート用混和剤(凍結防止剤、凝固防止剤、急結剤など)は使用しないでください。使用するとアルミなどの金属が腐食する原因になります。必要な場合は非塩素系や非アルカリ系の混和剤をご利用ください。
- モルタルやコンクリートの抽出液が、工事中に製品に付着しないように注意してください。抽出液は強アルカリ性で、シミやムラなどの外観不良の原因になります。
- 施工中に人工木の表面についた表い傷は引き渡し前に市販のサンドペーパー(#60~100)で補修してください。表面研磨する場合は、研磨してある方向に沿って行ってください。
- 製品の表面に付着したモルタルやコンクリートなどは、速やかに拭き取ってください。
- 施工についた表面の汚れやシミは、引き渡し前に水洗いをしてください。中性洗剤を薄めたものを使用した場合は、よく水洗いしてください。
- 材料特性上、静電気の発生が起ります。(時間経過とともに発生しずらくなっていきます。)

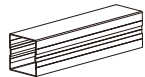

本書では、縦張りを基本とした施工方法を説明しています。

1	梱包明細表	3
2	施工時の重要確認事項	6
3	基本寸法と各部の名称	9
	【1】 各部の名称	9
	【2】 詳細納まり	11
	【3】 基本寸法表	13
	【4】 基本位置伏図	15
4	束柱・大引の施工	17
	【1】 基礎の施工	17
	【2】 束柱の加工	17
	【3】 大引の取付け	18
	■大引の連棟	19
	■束柱の固定	19
5	ロング束柱の使用 / 筋交い	20
6	躯体取付アングルの取付け	21
7	フリーステップの設置	22
	【1】 フレームAの取付け	23
	【2】 フレームBの組立て	24
	【3】 床板の取付け	24
	【4】 幕板の取付け	25
8	多段幕板納め	26
9	隅切りの施工（特殊納まりの加工）	27
10	JJF-A1 型・A2 型フェンス H1800 の設置	28
11	テラスの取付け	29
12	床板の施工	30
	【1】 側面幕板取付金具（大引用）の取付け	30
	【2】 床板の取付け	30
13	幕板の施工	34
	【1】 正面幕板固定金具の取付け	35
	【2】 正面幕板下止め固定金具の取り付け	35
	【3】 側面幕板補助金具の取付け	36
	【4】 幕板の加工	38
	【5】 幕板の取付け	41
14	くり貫き処理	43
15	施工後の補修	44

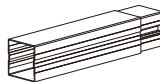

1

梱包明細表

【1】束柱セット・ロング束柱セット

呼 称	略 図	員 数			
		H400・600 3本入 4本入		ロング束柱H800・1500 3本入 4本入	
束柱		3	4	3	4
束柱固定金具		3	4	6	8
φ5.0×35mm セルフタップアンカー		3	4	8	10
φ4.2×13mm ナベドリルねじ		16	21	20	26

【2】調整束柱セット

呼 称	略 図	員 数	
		3本入	4本入
束柱		3	4
束柱固定金具		3	4
φ5.0×35mm セルフタップアンカー		3	4
φ4.2×13mm ナベドリルねじ		29	38

【3】大引セット

呼 称	略 図	員 数		
		1本入	2本入	3本入
大引	標準 1.0間	1	2	3
	標準 1.5間	2	3	4
	標準 2.0間	3	4	5

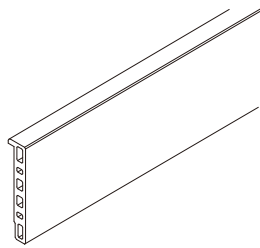
【4】大引セット(連棟用)

呼 称	略 図	員 数	
		2本入	3本入
大引	連棟 1.0間	2	3
	連棟 1.5間		
	連棟 2.0間		
φ4.2×13mm ナベドリルねじ		26	39

【5】床板セット

呼 称	略 図	員 数		
		1本入	2本入	3本入
床板	L900	2	3	4
	L1200	2	3	4
	L1500	2	3	4
	L1800	2	3	4
	L2700	1	2	3

【6】幕板セット

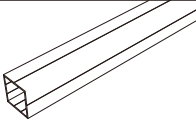

呼 称	略 図	員 数 1本入
幕板		1

【7】施工補助部品セット

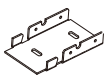
呼 称	略 図	員 数
施工補助治具		1
補修用サンドペーパー(#36相当)		1
ドリル(φ3.3mm)		1
取付説明書		1
取扱説明書		1

【8】筋交いセット

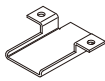
オプション

呼 称	略 図	員 数	
		4本入	6本入
筋交い		4	6
キャップ		16	24
φ4.2×45mm ナベドリルねじ		20	28
平座金		20	28

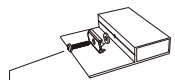
【9】 側面幕板固定金具セット

呼称	略図	員数	
		4入	6入
側面幕板 固定金具 (大引用)		4	6
φ4.2×13mm ナベドリルねじ		17	25
φ4.2×32mm サラドリルねじ		10	14

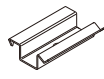
【10】 側面幕板補助金具セット

呼称	略図	員数	
		3入	4入
側面幕板 補助金具		3	4
φ4.8×16mm ナベタッピングねじ		6	8
φ4.2×32mm サラドリルねじ		6	8


【11】 正面幕板固定金具セット

呼称	略図	員数	
		3入	4入
正面幕板 固定金具	 φ4.2×20mm ナベタッピングねじ	3	4
φ4.2×32mm サラドリルねじ		8	10

【12】 床板固定金具セット

呼称	略図	員数		
		5個入	30個入	40個入
床板固定金具		5	30	40
φ4.0×13mm ナベドリルねじ		5	33	44


【13】 幕板連結キャップ

呼称	略図	員数
幕板連結 キャップ		1
φ3.5×13mm ナベタッピングねじ		2


【14】 幕板 90°出隅用コーナーキャップ

呼称	略図	員数
幕板 90°出隅用 コーナー キャップ		1
φ4.2×13mm サラタッピングねじ		4


【15】 幕板 90°入隅用コーナーキャップ オプション

呼称	略図	員数
幕板 90°入隅用 コーナー キャップ		1
φ4.2×13mm サラタッピングねじ		4

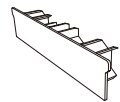
【16】 幕板フリーコーナーキャップ オプション

呼称	略図	員数
幕板フリー コーナー キャップ		各 1
φ4.2×13mm サラタッピングねじ		4


【17】 幕板端部キャップ オプション

呼称	略図	員数
幕板端部 キャップ		1
φ4.2×13mm サラタッピングねじ		2

【18】 床板キャップ オプション

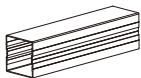
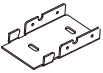
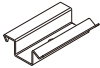

呼称	略図	員数
床板キャップ		2

【19】 正面幕板下止め固定金具セット オプション

呼称	略図	員数
		2入
正面幕板下止め 固定金具		2
φ4.2×20mm ナベタッピングねじ		2
φ4.2×32mm サラドリルねじ		4

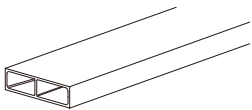
【20】 フリーステップ

オプション

呼称	略図	員数	
		フレームA	フレームB
大引	フレームA	1	1
	フレームB		
束柱		1	2
側面幕板固定金具 (大引用)		2	2
床板固定金具		3	2
束柱固定金具		1	2
φ4.2×13mm ナベドリルねじ		20	22
φ4.2×32mm サラドリルねじ		2	2
φ5.0×35mm セルフタップアンカー		2	3

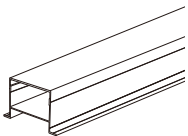
【21】 補強材セット

オプション

呼称	略図	員数
補強材		1
取付けアングルA		4
取付けアングルB		8
φ4.8×60mm サラドリルねじ		8
φ4.8×13mm ナベドリルねじ		28

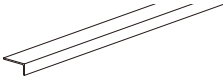
【22】 多段幕板フレーム

オプション

呼称	略図	員数
多段幕板 フレーム		2
φ4.2×32mm サラドリルねじ		24
φ4.2×13mm ナベドリルねじ		12

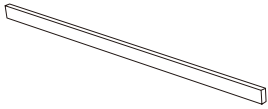
【23】 躯体取付アングルセット

オプション

呼称	略図	員数
躯体取付 アングル		1
φ6.3×55mm 六角タッピングねじ		7


【24】 床板幅詰め用スペーサー

オプション

呼称	略図	員数
床板幅詰め用 スペーサー		2
φ4.2×16mm サラタッピングねじ		13
φ4.2×55mm サラタッピングねじ		5

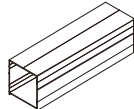
【25】 束柱固定金具追加セット

オプション

呼称	略図	員数
束柱固定金具		8
φ5.0×35mm セルフタップアンカー		10
φ4.2×13mm ナベドリルねじ		42

【26】 大引スリーブ追加セット

オプション

呼称	略図	員数
スリーブ		1
φ4.2×13mm ナベドリルねじ		17

【27】 床板直止め用ねじ

オプション

呼称	員数
床板直止め用ねじ φ4.2×55mm サラタッピングねじ	10

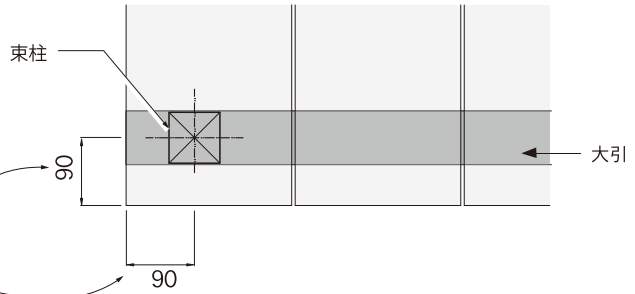
2

施工時の重要確認事項

■多段幕板の場合

(単位:mm)

- ※束・大引の位置が 90 mm 固定。
- ※束柱・大引の位置が指定されますのでご注意ください。
- ※多段幕板の場合、標準束を選択してください。調整束だと束側面の段差が幕板に現れます。

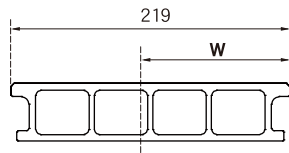


束柱は床端から 90mm に固定

■床板の間口調整

縦切り

(単位:mm)

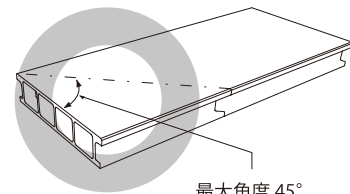


■床板の幅詰め **×** は幅詰め不可

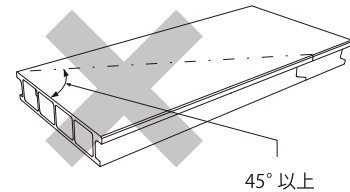
$W < 67$	×
$67 \leq W \leq 75$	スペーサーなし
$75 < W < 87$	×
$87 \leq W \leq 102$	スペーサー要
$102 < W < 113$	×
$113 \leq W \leq 121$	スペーサーなし
$121 < W < 133$	×
$133 \leq W \leq 148$	スペーサー要
$148 < W < 159$	×
$159 \leq W \leq 167$	スペーサーなし
$167 \leq W \leq 179$	×
$179 \leq W \leq 195$	スペーサー要
$195 \leq W \leq 206$	×
$206 \leq W \leq 219$	スペーサーなし

斜め切り

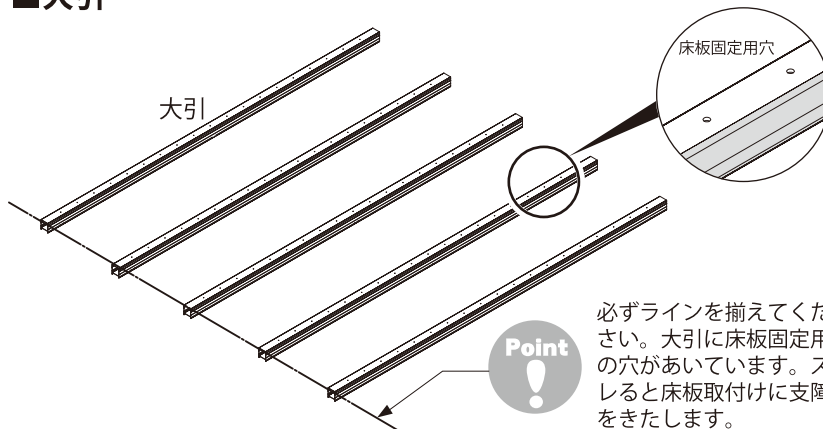
床板を斜め切りするときは 45° 以内にしてください。



切り込み過ぎは材料の変形・破損の原因になります。



■大引

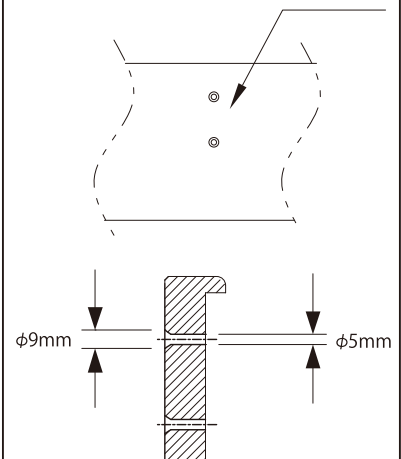


必ずラインを揃えてください。大引に床板固定用の穴があいています。ズレると床板取付けに支障をきたします。

■幕板の穴加工

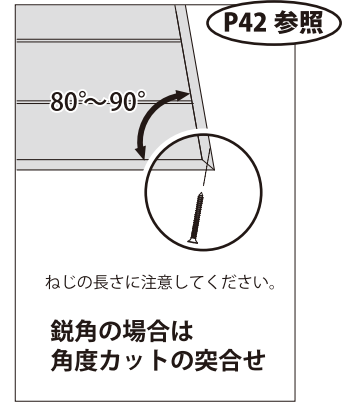
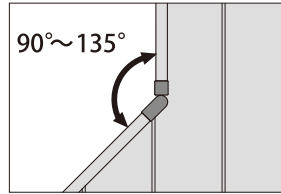
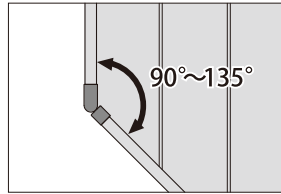
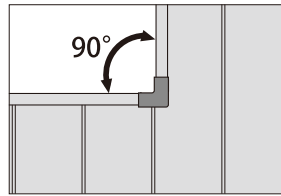
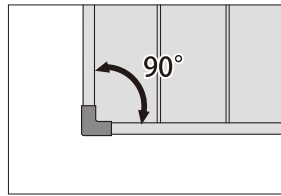
皿取り加工

φ5-9mm
皿取り加工

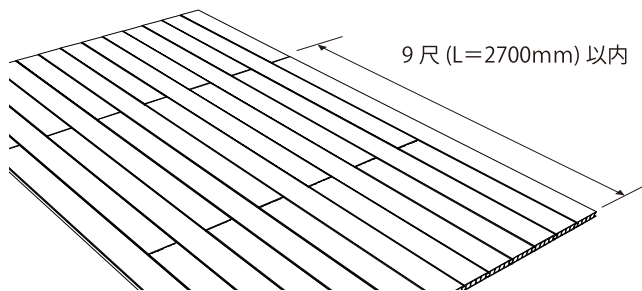


■コーナー対応角度

右図に示す
角度以外は
対応できません。



■床板の連結



床板を長さ方向に連結する場合は、9尺 (L=2700) 以内の床板を使用し必ず目地をとってください。それより長い床板を連結すると、反り・変形の原因になります。

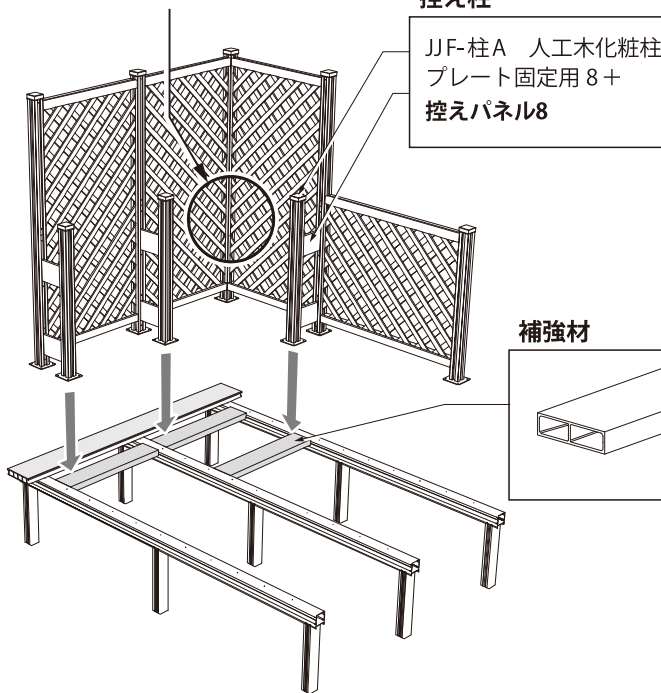
目地寸法 **P33 参照**

■デッキ上に H1800 フェンスを取付ける場合

コーナー部には
控え柱はいりません。

控え柱

JJF-柱A 人工木化粧柱
プレート固定用 8 +
控えパネル8

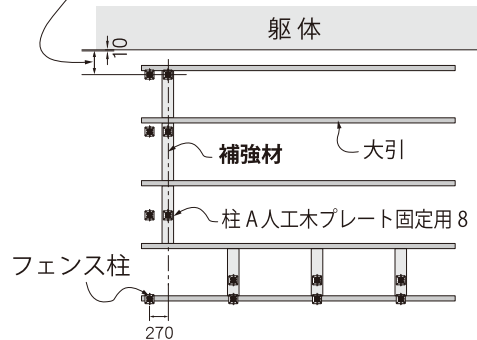


Point

設置にはデッキ大引に
事前に補強材を取付けて
おく必要があります。

P28 参照

*床端~フェンス柱芯=
床端~大引芯寸法+30mm以上
(標準 150 の場合は180mm以上)



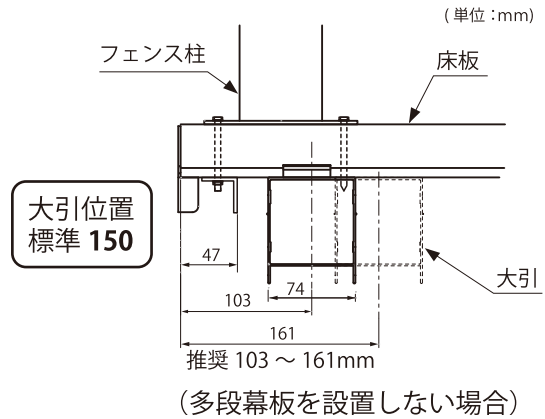
■デッキ上にフェンス柱を取付ける場合



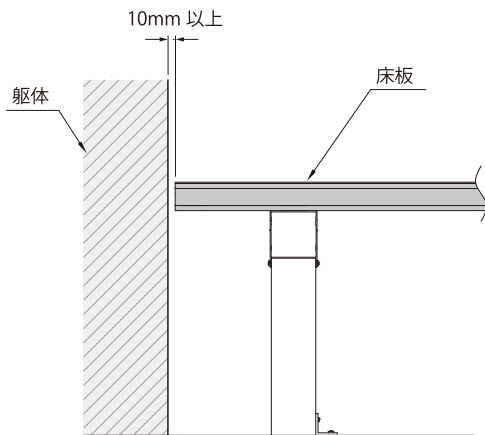
フェンスの取付は幕板取付けより先に行うことをおすすめします。施工が楽になります。

※デッキにフェンス柱を取付ける場合は、各フェンスの取付説明書を必ず確認してください。

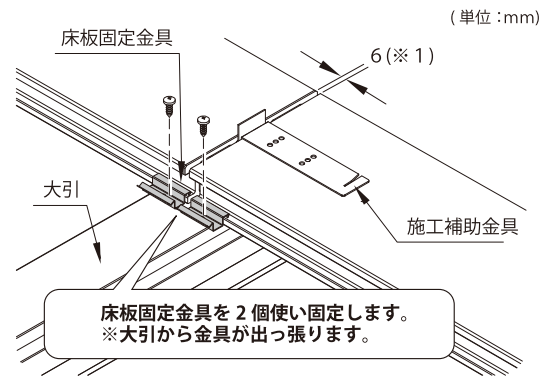
■大引の位置から床板先端までの距離を、大引中心から 103～161mmの範囲にすると取付が簡単になります。



■施工時の重要なすき間寸法



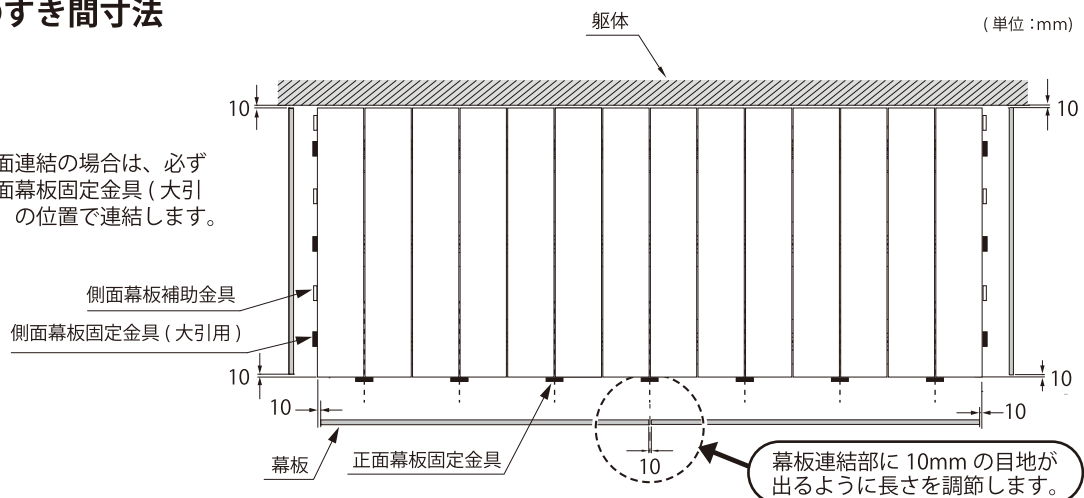
床板の連結は必ず、大引の上で行ってください。施工補助金具を使用した場合、床板連結部の目地は 6mm(※1) になります。連結部の床板小口は軽く (1mm 程度) 面取りします。



■幕板のすき間寸法

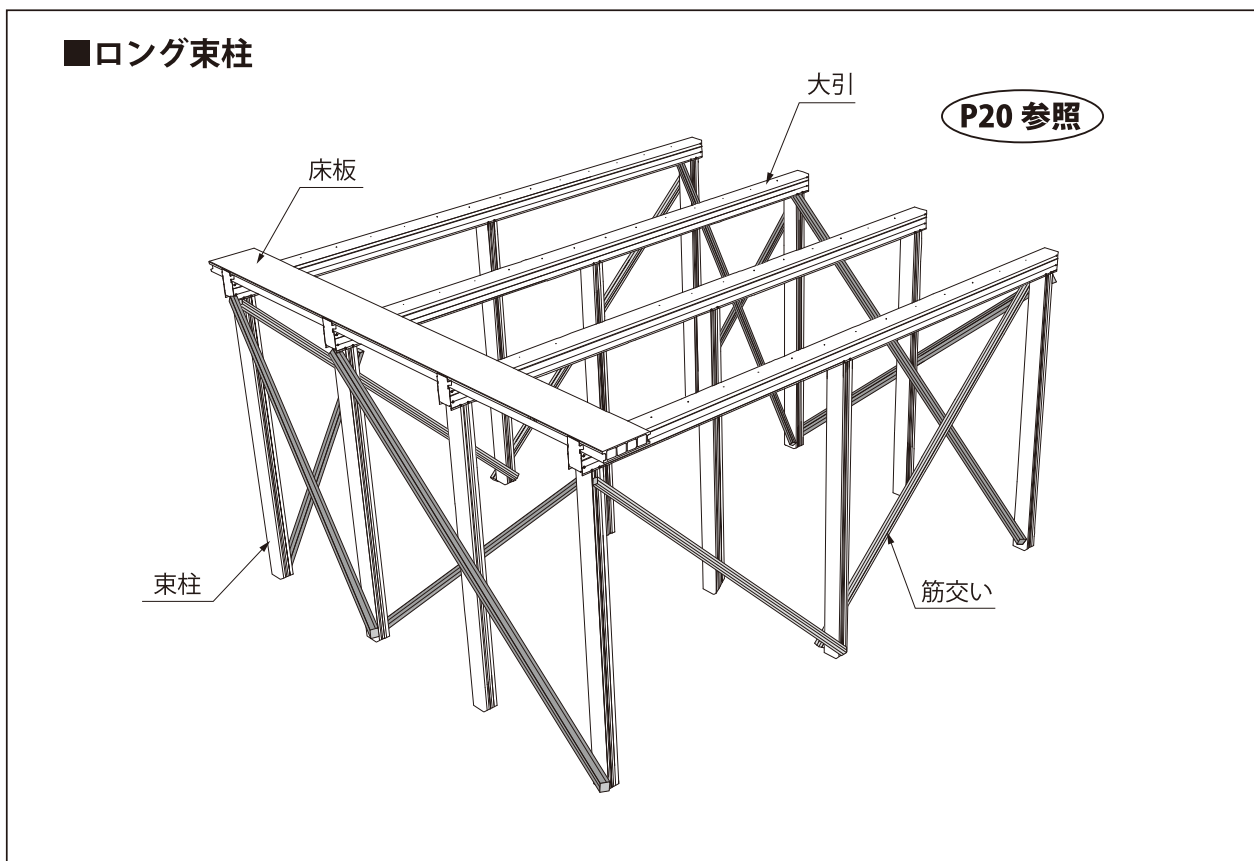
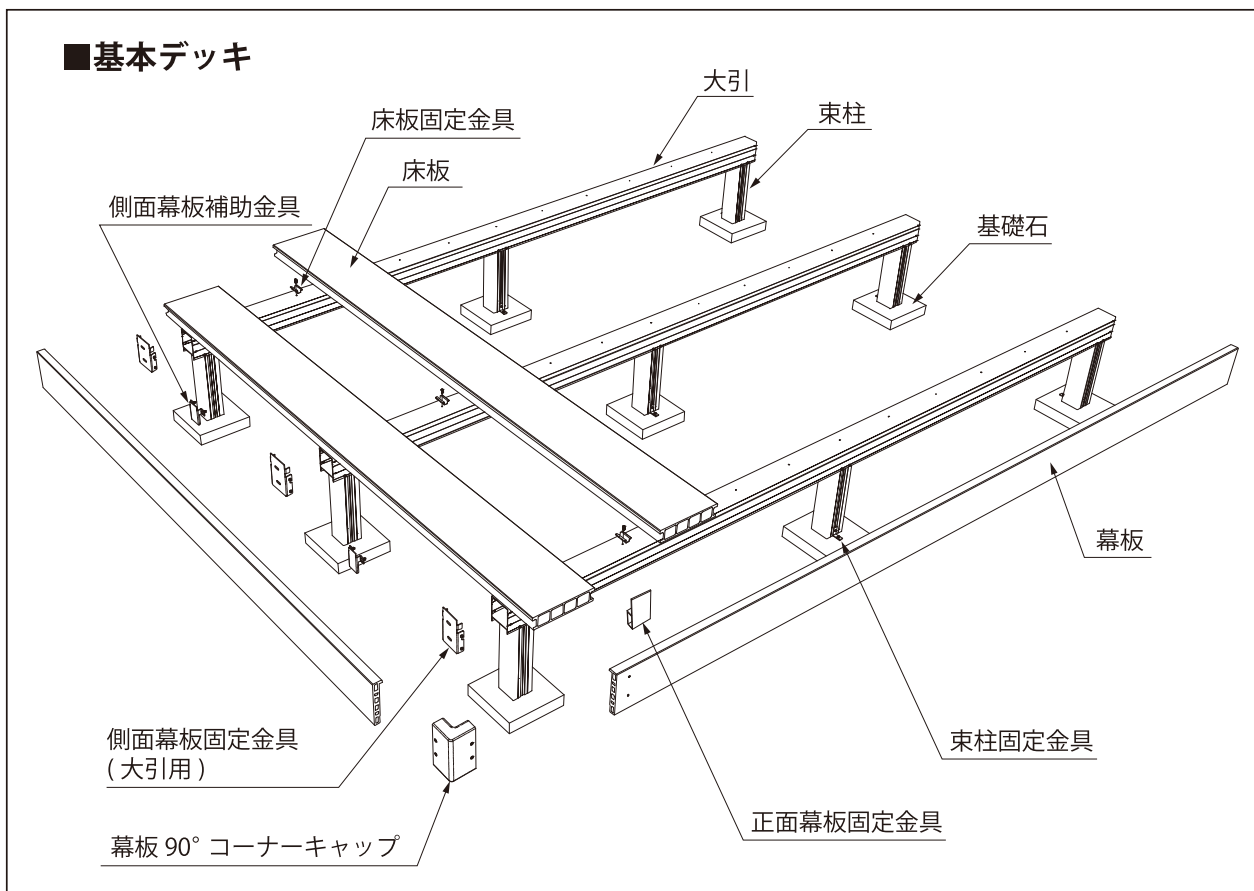


側面連結の場合は、必ず側面幕板固定金具(大引用)の位置で連結します。

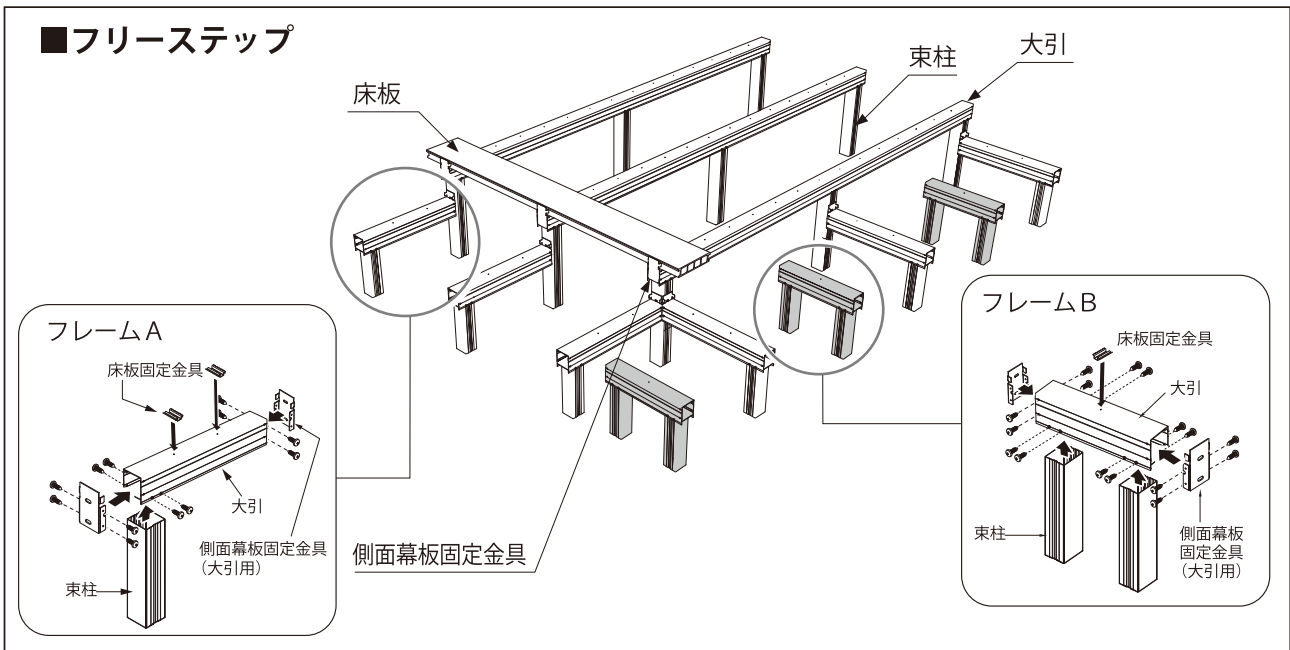


3 各部の名称

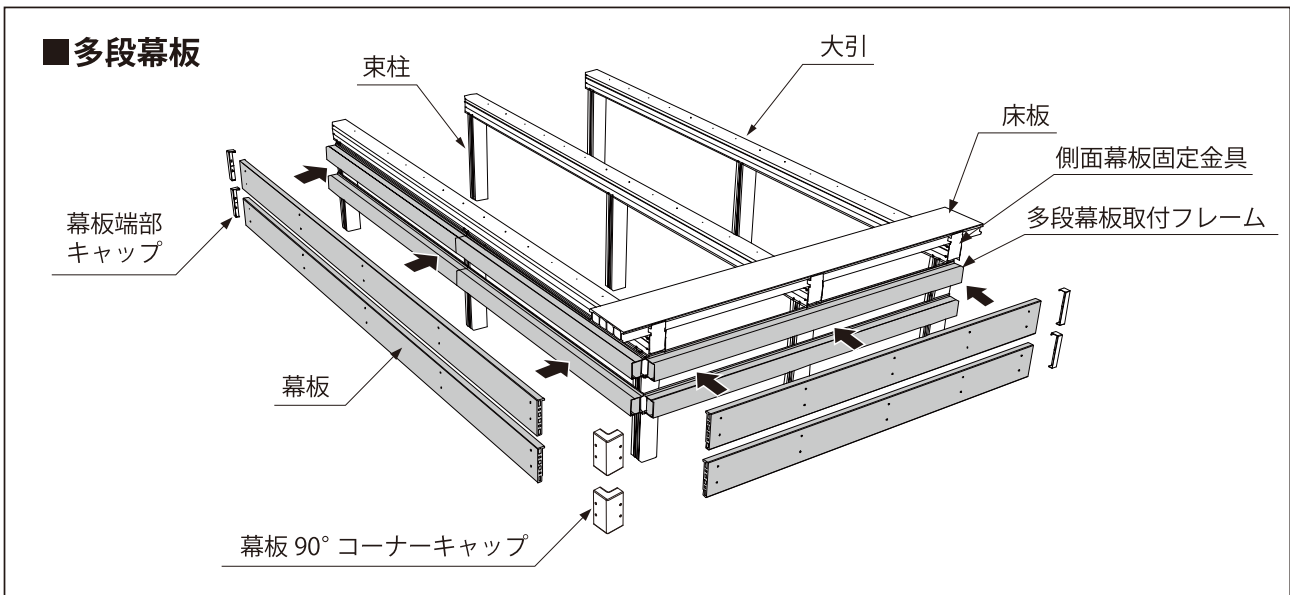
【1】各部の名称



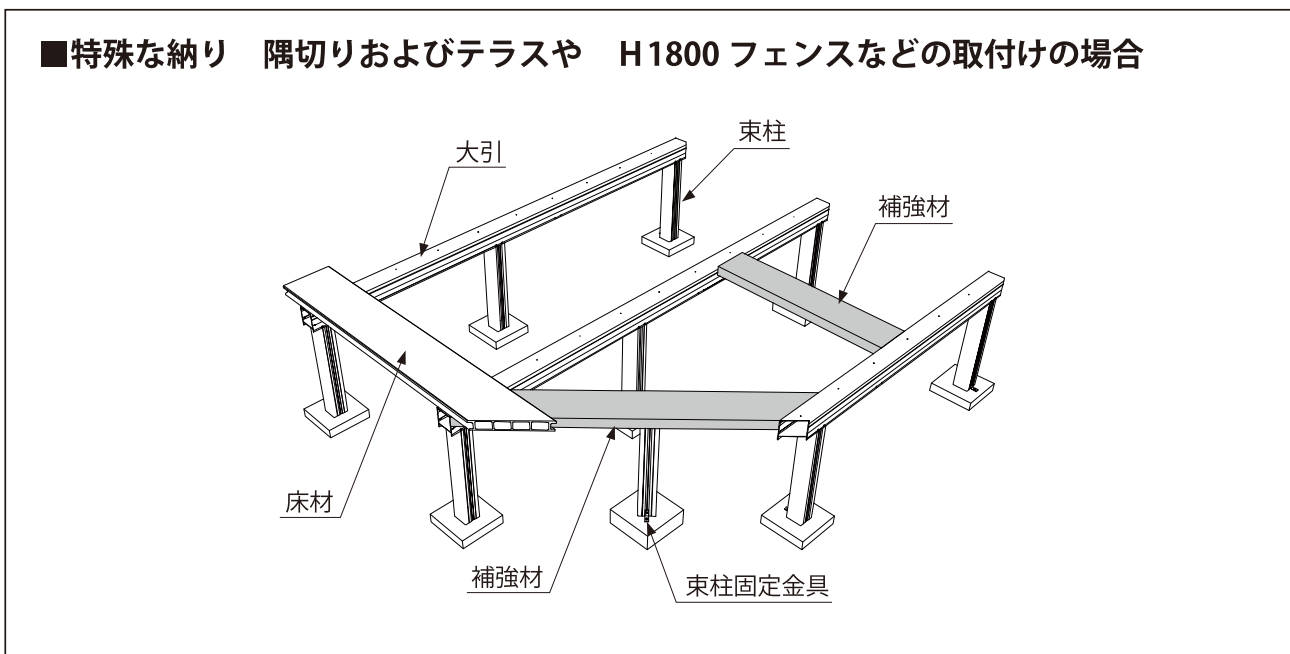
■フリーステップ



■多段幕板

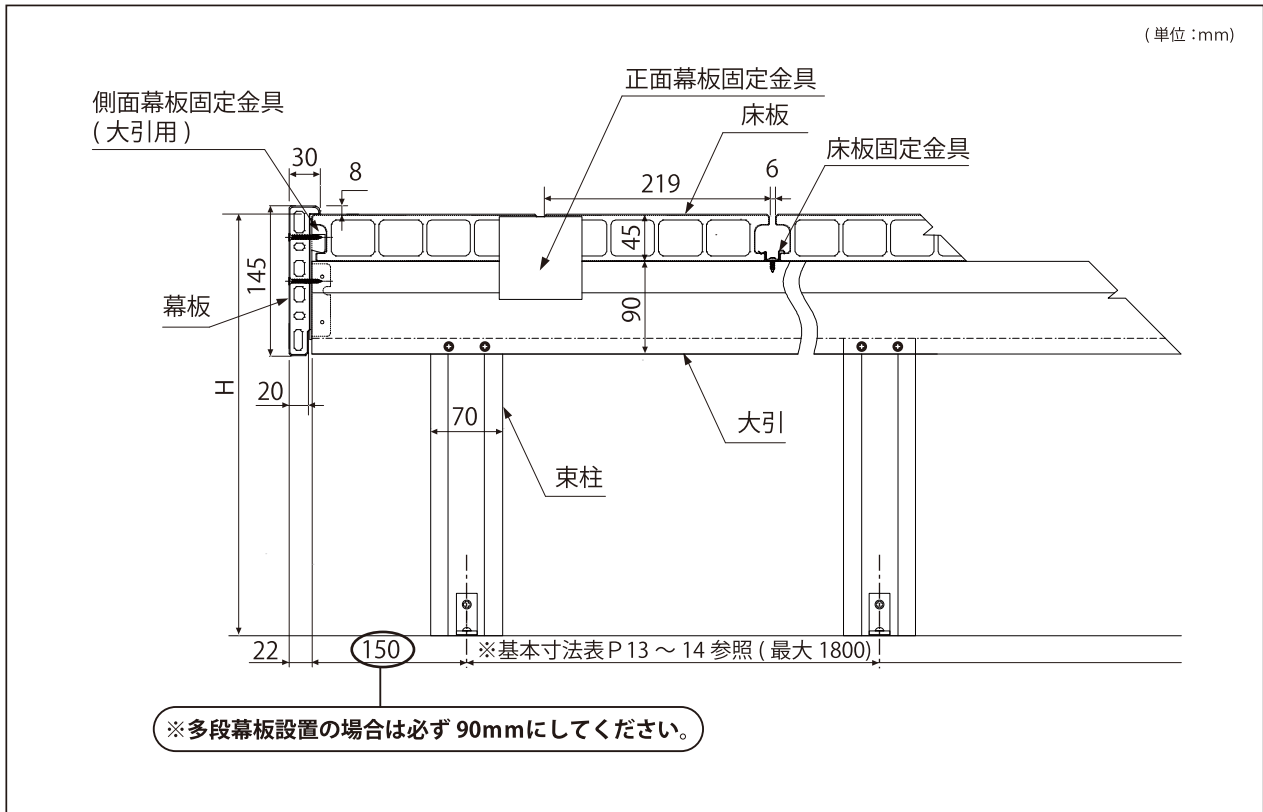


■特殊な納り 隅切りおよびテラスや H1800 フェンスなどの取付けの場合

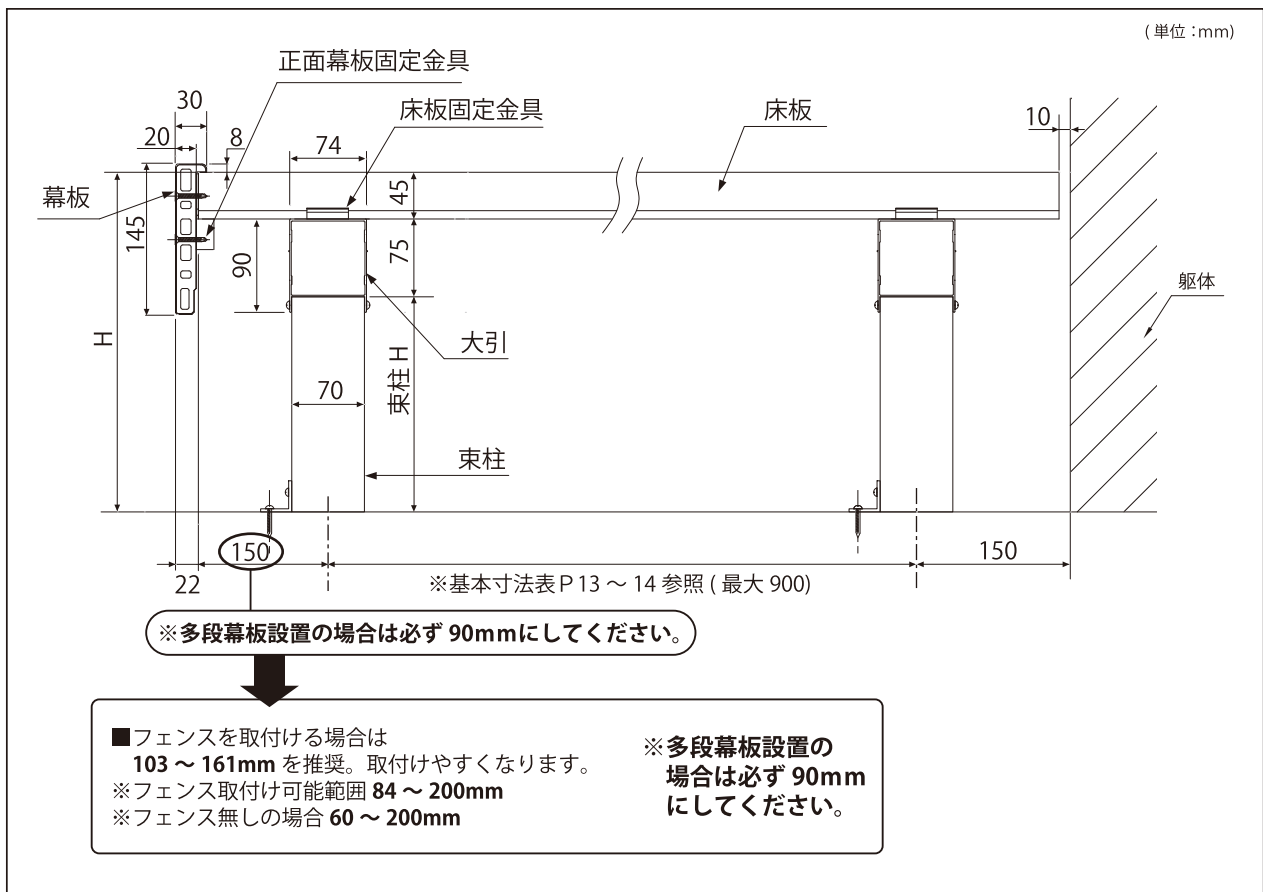


【2】詳細納り

■正面納り図

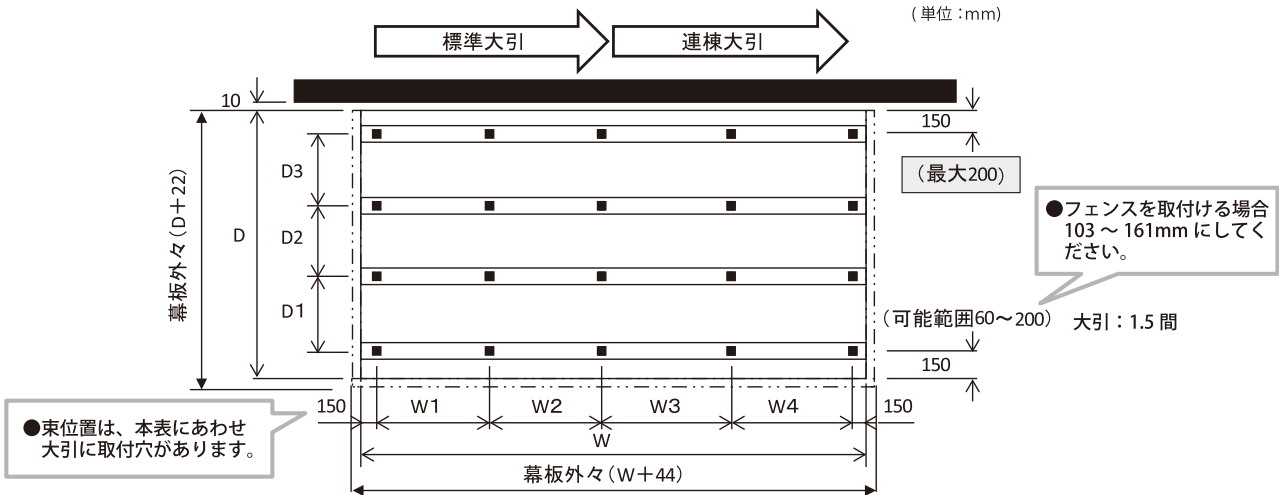


■側面納り図



【3】基本寸法表

■標準

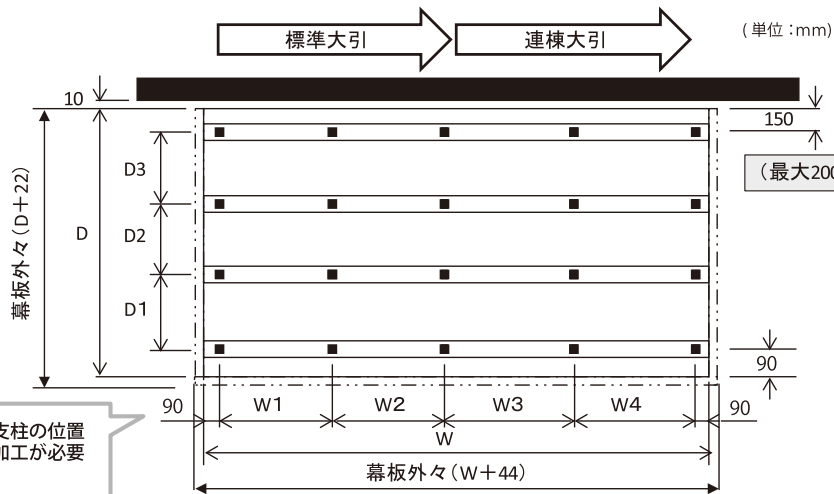


	床板外々 =大引長 W	幕板外々 (キャップ厚含まず) W+44	束柱位置						大引・幕板の組合せ ●束柱数、幕板固定か所数最少の組合せ *幕板はカットして寸法調整します。
			標準大引側⇔連棟用大引側						
			W1	W2	W3	W4	W5	W6	
1.5間	2694	2738	1197	1197					大引：1.5間 幕板：2782
2.0間	3594	3638	1647	1647					大引：2間 幕板：1882×2
2.5間	4494	4538	1197	1347	1650				大引：1.5間+1間(連棟) 幕板：2782+1882
3.0間	5394	5438	1647	1797	1650				大引：2間+1間(連棟) 幕板：2782×2
3.5間	6294	6338	1647	1797	1275	1275			大引：2間+1.5間(連棟) 幕板：2782+1882×2
4.0間	7194	7238	1647	1797	1725	1725			大引：2間+2間(連棟) 幕板：2782×2+1882
4.5間	8094	8138	1647	1797	1275	1425	1650		大引：2間+1.5間(連棟)+1間(連棟) 幕板：2782×3
5.0間	8994	9038	1647	1797	1275	1425	1275	1275	大引：2間+1.5間(連棟)×2 幕板：2782×2+1882×2

●大引に束柱固定穴があります。
●大引連棟部には、必ず束柱を設置します。

	床板出幅 D	幕板外出幅 (キャップ厚含まず) D+22	大引位置						床板・幕板の組合せ *床板連棟は千鳥張り *幕板はカットして寸法調整します。
			外側⇔躯体側						
			D1	D2	D3	D4	D5	D6	
3尺	900	922	600						床板：900 幕板：1882用/2 *切断
4尺	1200	1222	900						床板：1200 幕板：2782用/2 *切断
5尺	1500	1522	600	600					床板：1500 幕板：1882
6尺	1800	1822	750	750					床板：1800 幕板：1882
7尺	2106	2122	753	300	753				床板：900+1200 幕板：2782
8尺	2406	2422	753	600	753				床板：900+1500 幕板：2782
9尺	2700	2722	800	800	800				床板：2700 幕板：2782
12尺	3600	3622	750	900	900	750			床板：900+2700 幕板：1882+1882

■多段幕板の場合



●多段の場合、支柱の位置に大引への穴加工が必要です。

	床板外々 =大引長 W	幕板外々 (キャップ厚含まず) W+44	束柱位置						大引・幕板の組合せ ●束柱数、幕板固定か所数最少の組合せ *幕板はカットして寸法調整します。
			標準大引側⇄連棟用大引側						
			W1	W2	W3	W4	W5	W6	
1.5間	2694	2738	1257	1257					大引：1.5間 幕板：2782
2.0間	3594	3638	1707	1707					大引：2間 幕板：1882×2
2.5間	4494	4538	1257	1347	1710				大引：1.5間+1間(連棟) 幕板：2782+1882
3.0間	5394	5438	1707	1797	1710				大引：2間+1間(連棟) 幕板：2782×2
3.5間	6294	6338	1707	1797	1725	1335			大引：2間+1.5間(連棟) 幕板：2782+1882×2
4.0間	7194	7238	1707	1797	1725	1785			大引：2間+2間(連棟) 幕板：2782×2+1882
4.5間	8094	8138	1707	1797	1725	1425	1710		大引：2間+1.5間(連棟)+1間(連棟) 幕板：2782×3
5.0間	8994	9038	1707	1797	1725	1425	1275	1335	大引：2間+1.5間(連棟)×2 幕板：2782×2+1882×2

●大引に束柱固定穴があります。
●大引連棟部には、必ず束柱を設置します。

	床板出幅 D	幕板外出幅 (キャップ厚含まず) D+22	大引位置						床板・幕板の組合せ *床板連棟は千鳥張り *幕板はカットして寸法調整します。
			外側⇄躯体側						
			D1	D2	D3	D4	D5	D6	
3尺	900	922	600						床板：900 幕板：1882用/2 *切断
4尺	1200	1222	480	480					床板：1200 幕板：2782用/2 *切断
5尺	1500	1522	630	630					床板：1500 幕板：1882
6尺	1800	1822	780	780					床板：1800 幕板：1882
7尺	2106	2122	813	300	753				床板：900+1200 幕板：2782
8尺	2406	2422	813	600	753				床板：900+1500 幕板：2782
9尺	2700	2722	820	820	820				床板：2700 幕板：2782
12尺	3600	3622	750	900	900	750			床板：900+2700 幕板：1882+1882

【4】基本位置伏図（標準） ※多段幕板の仕様は本図とは相違します。

(単位: mm)

	1.5 間	2.0 間	2.5 間	3.0 間	3.5 間
3 尺	<p>大引: 2694 2738</p>	<p>大引: 3594 3638</p>	<p>大引: 4494 4538</p>	<p>大引: 5394 5438</p>	<p>大引: 6294 6338</p>
4 尺	<p>大引: 2694 2738</p>				
5 尺	<p>大引: 2694 2738</p>				
6 尺	<p>大引: 2694 2738</p>				
7 尺	<p>大引: 2694 2738</p>				
8 尺	<p>大引: 2694 2738</p>				
9 尺	<p>大引: 2694 2738</p>				
12 尺	<p>大引: 2694 2738</p>				

【4】基本位置伏図（標準） ※多段幕板の仕様は本図とは相違します。

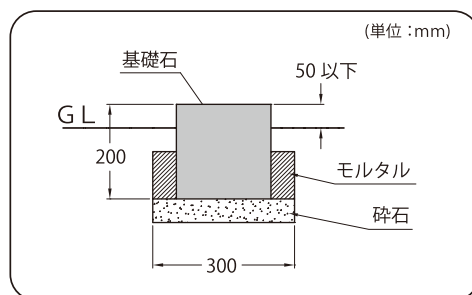
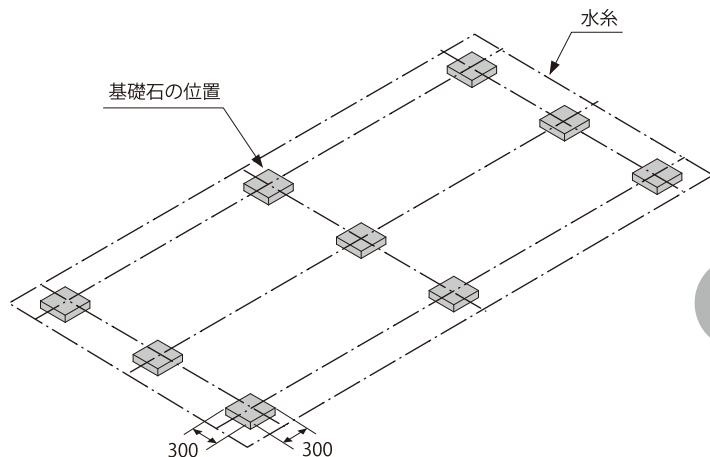
(単位: mm)

	4.0 間	4.5 間	5.0 間
3 尺	<p>大引:7194 7238</p>	<p>大引:8094 8138</p>	<p>大引:8994 9038</p>
4 尺			
5 尺			
6 尺			
7 尺			
8 尺			
9 尺			
12 尺			

4 束柱・大引の施工

【1】基礎の施工

P15～16の基礎位置伏図を参照して、前面・両側面の水系に寸法出しをし、基礎石の位置を決定してください。



①指定位置に穴を掘り、砕石を敷いて突き固めてください。

Point

この作業が十分でないと、基礎のひずみが発生する場合があります。

②基礎石を設置し、レベルを出してください。

③基礎石の周りをモルタルで固めて下さい。

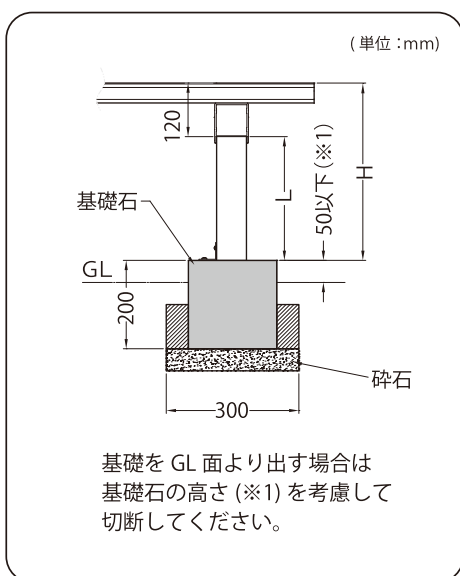
Point

モルタルで基礎を固めないと、基礎の浮き沈みが発生する場合があります。

【2】束柱の加工

各々の束柱を必要な長さに切断し、束柱固定金具を取付けます。

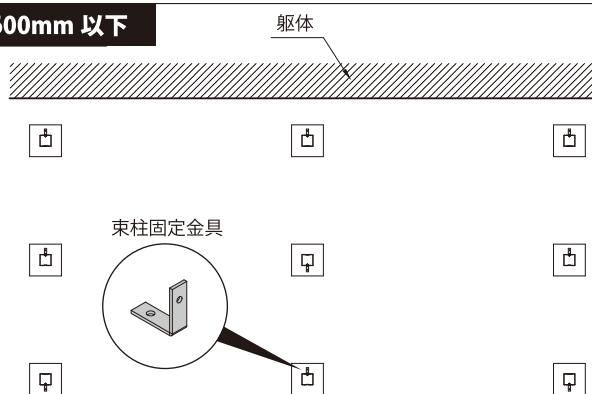
①H寸法(デッキ上面高さ)を決定してください。



Point

束柱固定金具の基礎石への固定は大引取付け後に行います。

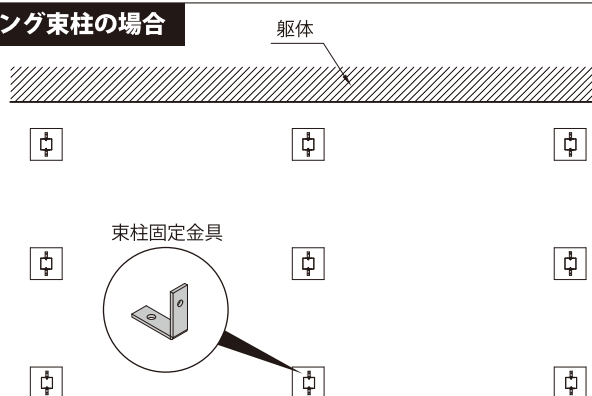
H600mm 以下



固定金具は束柱1本に1カ所取付けます。

固定金具の向きが交互取付けになるように束柱を置いてください。

ロング束柱の場合



固定金具は束柱1本に2カ所取付けてください。

②束柱を切断してください。

■束柱 (単位:mm)

切断

$L = H - 120$

■調整束柱 調整束柱の調整範囲はL300～480mm(FL420～600mm)です。L300mm以下(FL420mm以下)の場合は切断してください。

調整方法

調整範囲 L300～480mm

束柱 A

束柱 B

$\phi 4.2 \times 13$ mm ナベドリルねじ

ナットを緩め高さを調整し、水平・直角を確認してからねじで固定します。

(単位:mm)

L < 300 の場合

束柱 A

束柱 B

切断

調整可能

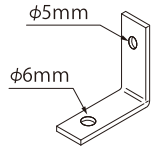
切断

Point

調整束柱の切断は束柱 A は上面方向を束柱 B は下面方向より、同寸法で切断してください。

③束柱固定金具を取付けます。

束柱固定金具



※金具の穴径が違います。向きにご注意ください。

	■束柱の場合	■調整束柱の場合
H600mm以下束柱	<p>$\phi 4.2 \times 13$mm ナベドリルねじ</p> <p>束柱固定金具</p>	<p>$\phi 4.2 \times 13$mm ナベドリルねじ</p> <p>束柱固定金具</p>
ロング束柱	<p>$\phi 4.2 \times 13$mm ナベドリルねじ</p> <p>束柱固定金具</p>	<p>※2箇所取付けてください。</p>

【3】大引の取付け

左側の大引端部を揃えてください。

Point 大引に床板固定用の穴があいています。ずれると床板の取付けに支障をきたします。

床板固定用穴

大引(連棟用)

大引(標準用)

連棟 P19参照

大引の取付け

大引

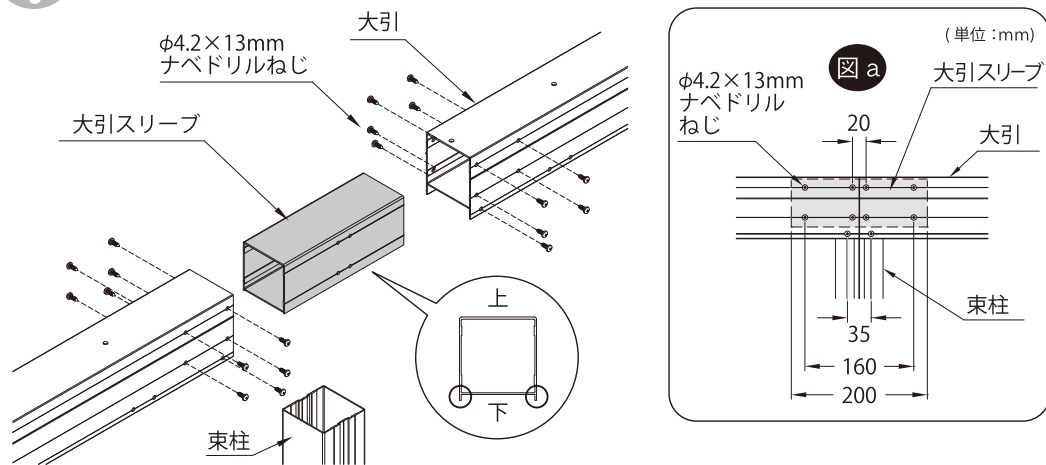
束柱

$\phi 4.2 \times 13$ mm ナベドリルねじ

■大引を連棟する場合

大引スリーブを大引に挿入してねじで固定してください。

Point 大引の連結部は、束柱の中央上部で付き合わせて固定してください。(図 a 参照)
大引スリーブの上下を確認してから組み付けてください。



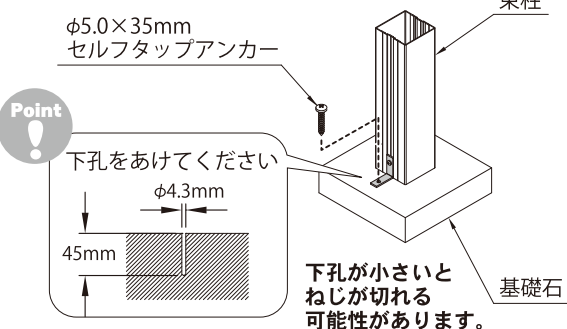
下記が対象の場合、この段階で取付けが必要となる部材があります。必ず対象ページを確認のうえ取付けをしてください。

- ロング束柱の使用 / 筋交い P20
- 躯体取付アングルの取付け P21
- フリーステップの設置 / フレーム A・フレーム B P22
- 点検口の設置 / 取付アングル 点検口取付説明書参照
- 多段幕板納め / 取付フレーム・束柱の固定 P26
- 隅切りの施工 / 補強材 P27
- フェンスの取付け / 取付アングル フェンス取付説明書参照
- JJF-A1 型・A2 型フェンス H1800 の設置 / 補強材 P28
- デッキ設置に障害物がある場合 (他社品) P29

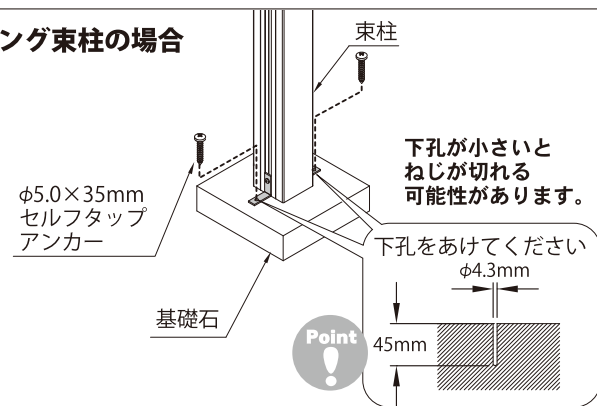
上記の必要な部材の取付けが終わりましたら束柱を基礎石に固定します。

■束柱の固定

H600mm 以下束柱の場合

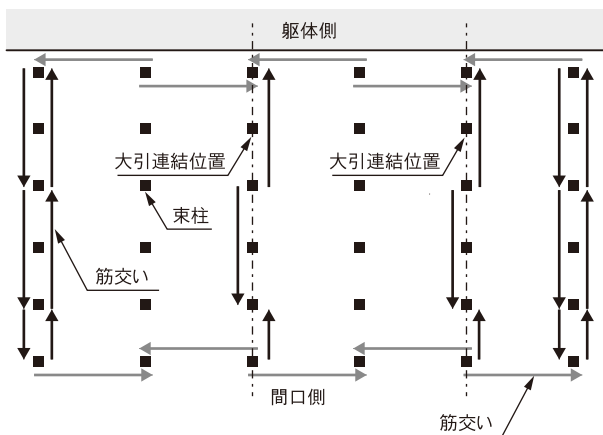


ロング束柱の場合



5 ロング束柱の使用 / 筋交い

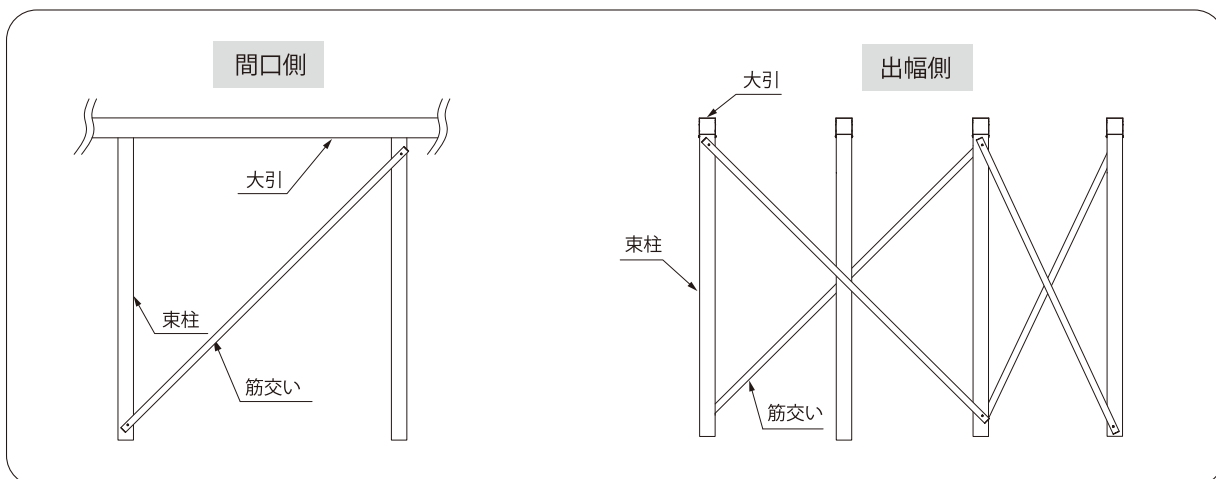
筋交いの取付方向



Point 横張りの場合は、図を横にして読み替えてください。

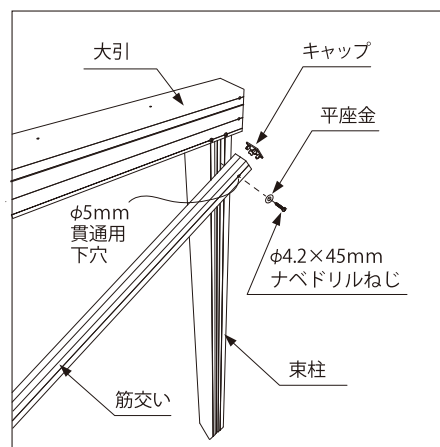
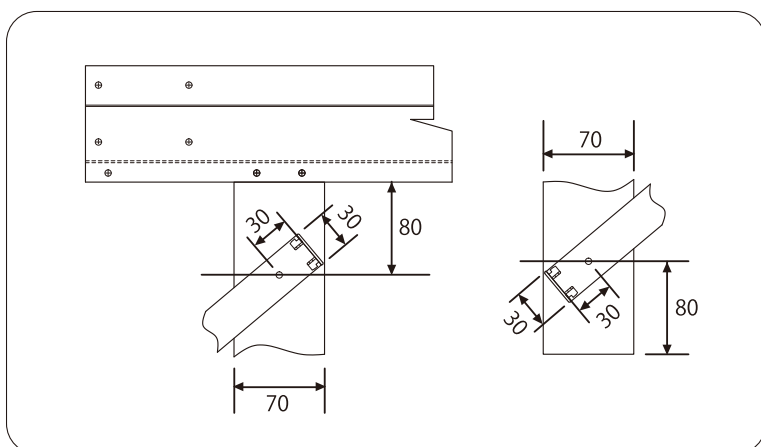


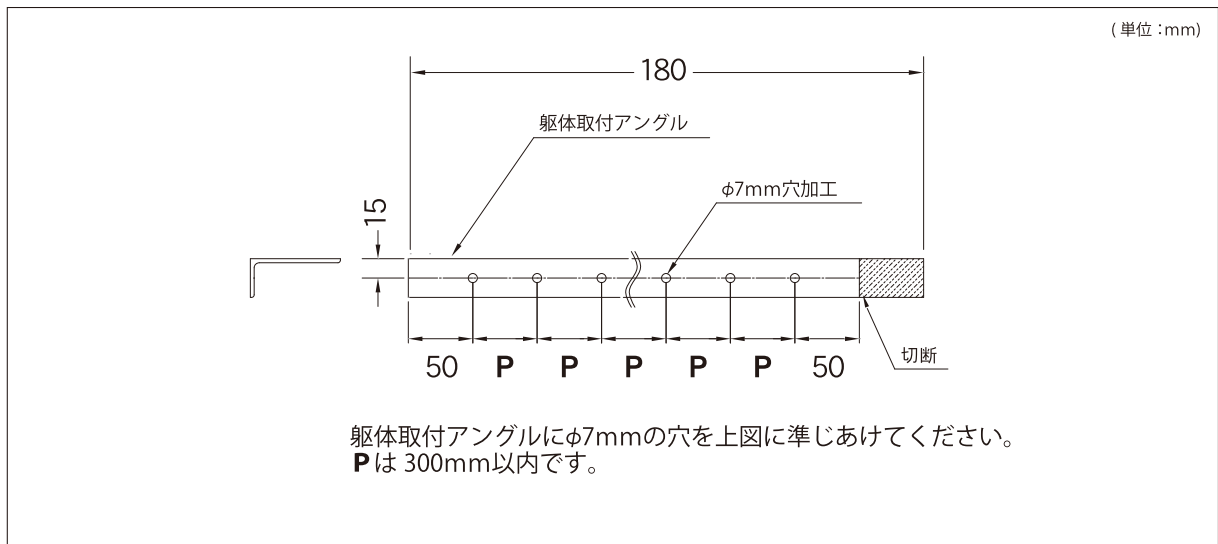
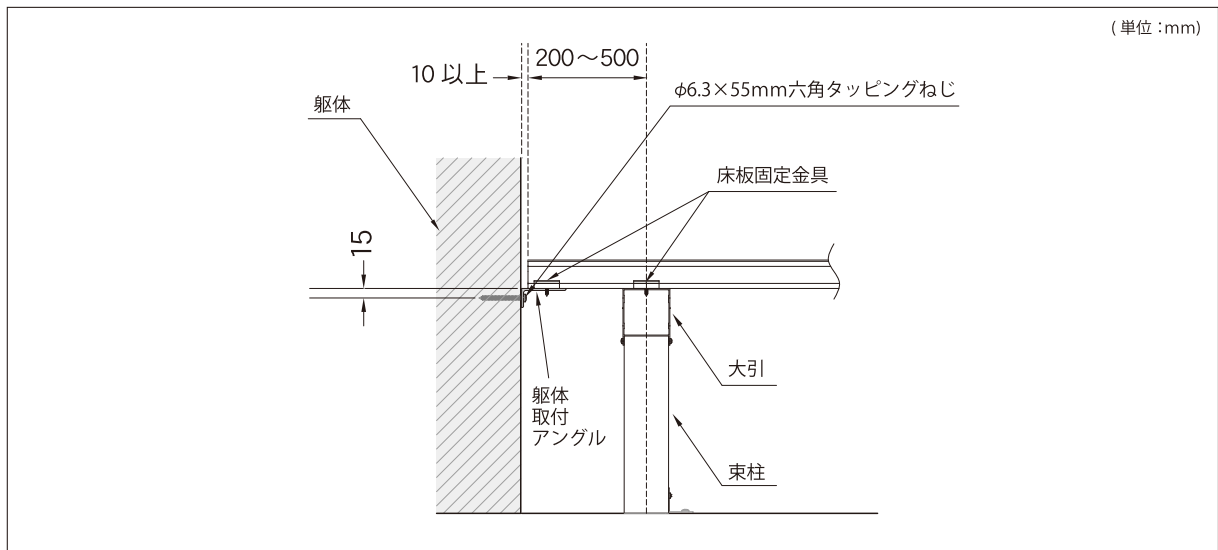
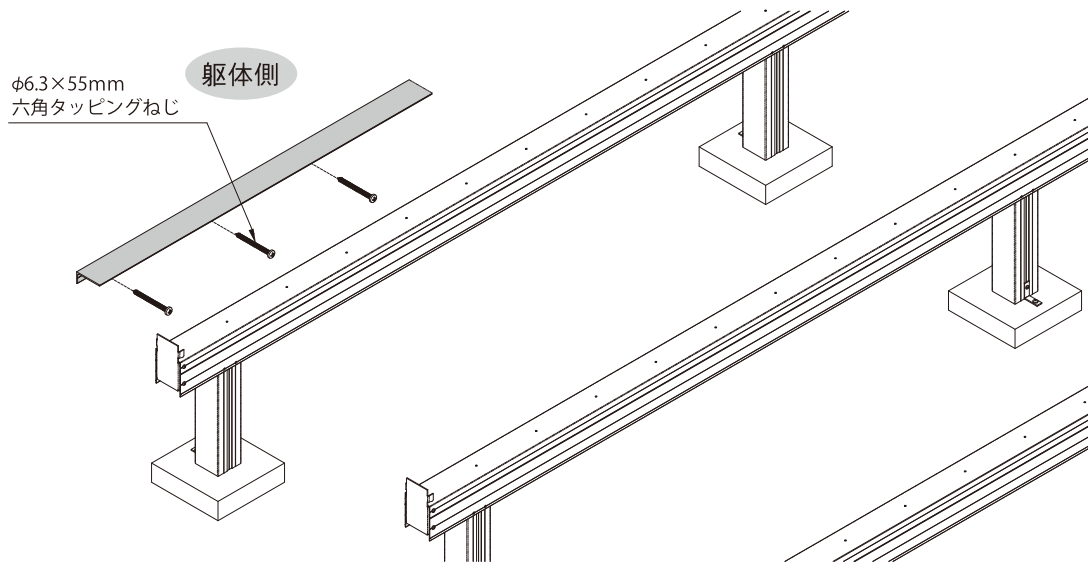
- デッキ一周を筋交いで結ぶことで、最もブレ止めの効果が生じます。
- 間口側と大引連結位置の筋交いはシングルで、ロング束柱の内側・外側交互に取付けください。出幅側はダブル配置の施工を要します。
- デッキ形状や基礎状態の都合から、上記配置が難しい場合は、現場状況に合わせ適宜配置をしてください。
- 低い位置での取付けや角度が水平に近くなるほど、効果が低減します。

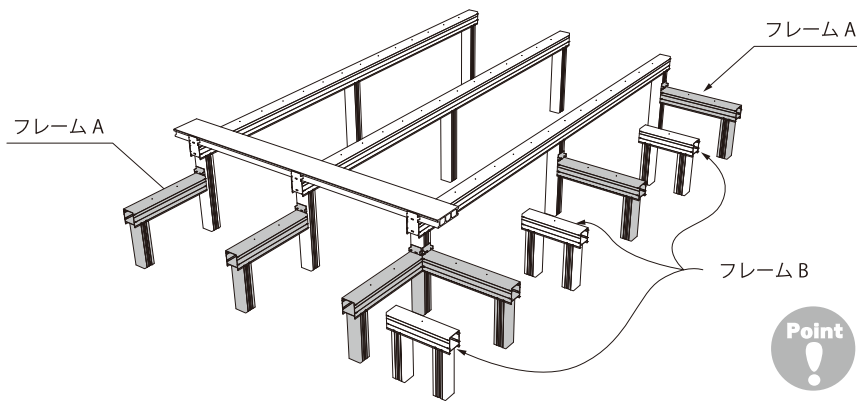


■筋交いの取付手順

- ①それぞれの設置場所に合わせ必要寸法に切断します。
- ②筋交いに固定用のφ5mm貫通穴をあけます。
- ③筋交いをφ4.2×45mmナベドリルねじで束柱に固定します。
- ④筋交い用キャップをはめ込みます。



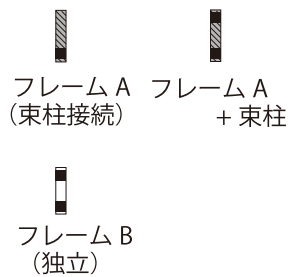




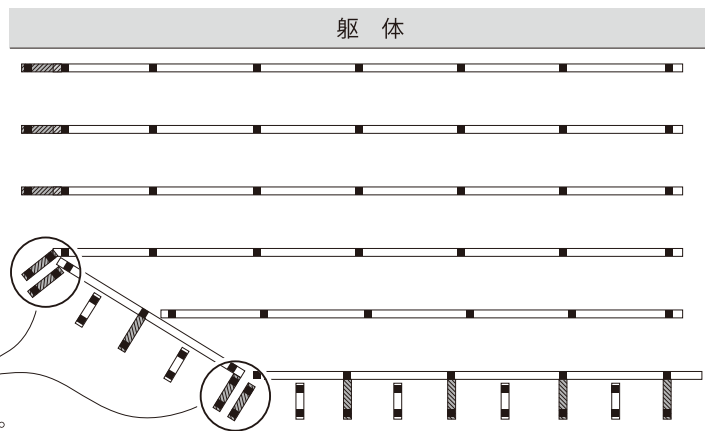
Point

フレームの間が 900mm以上の
場合とコーナー部に設置します。

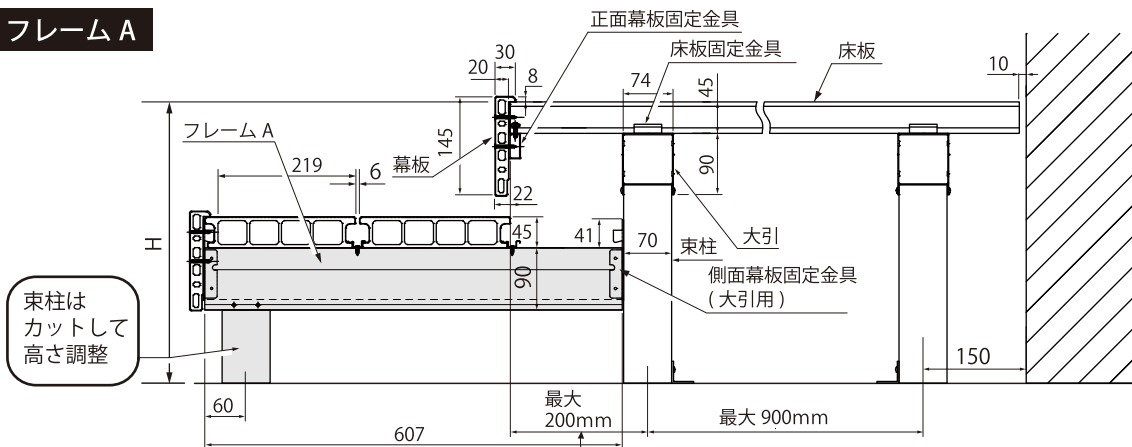
■コーナーが 90° でない場合



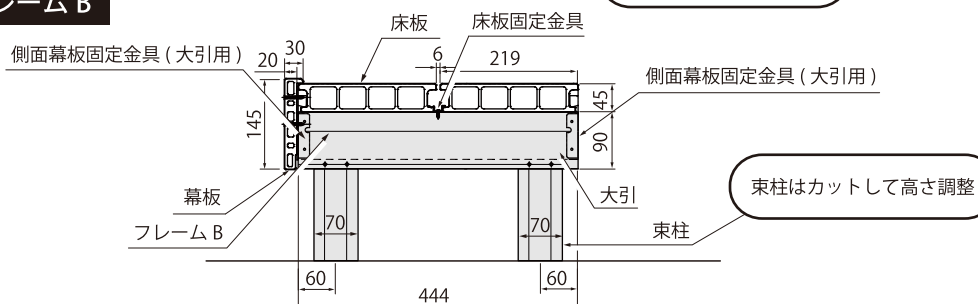
フレーム A +
束柱の追加が必要です。



フレーム A



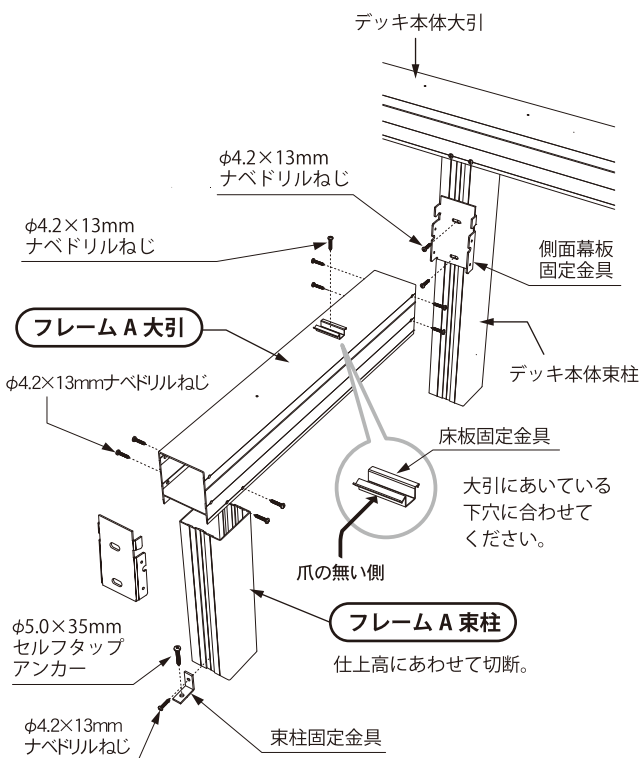
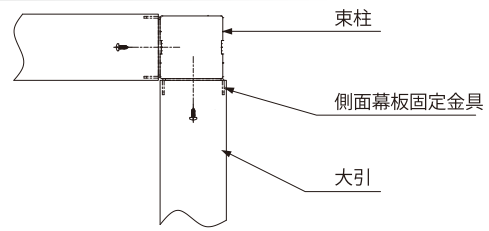
フレーム B



【1】フレーム A の取付け



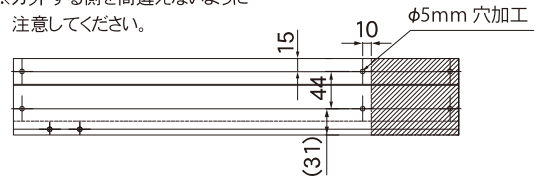
コーナーの場合は右図のようにセンターをずらして取付けてください。



■フレーム A の取付手順

① **フレーム A 大引**を必要な長さにカットし、穴加工をしてください。(下図参照)

※カットする側を間違えないように注意してください。



② 床板固定金具を**フレーム A 大引**の奥側のみ、事前に取付けます。(向きに注意してください。)

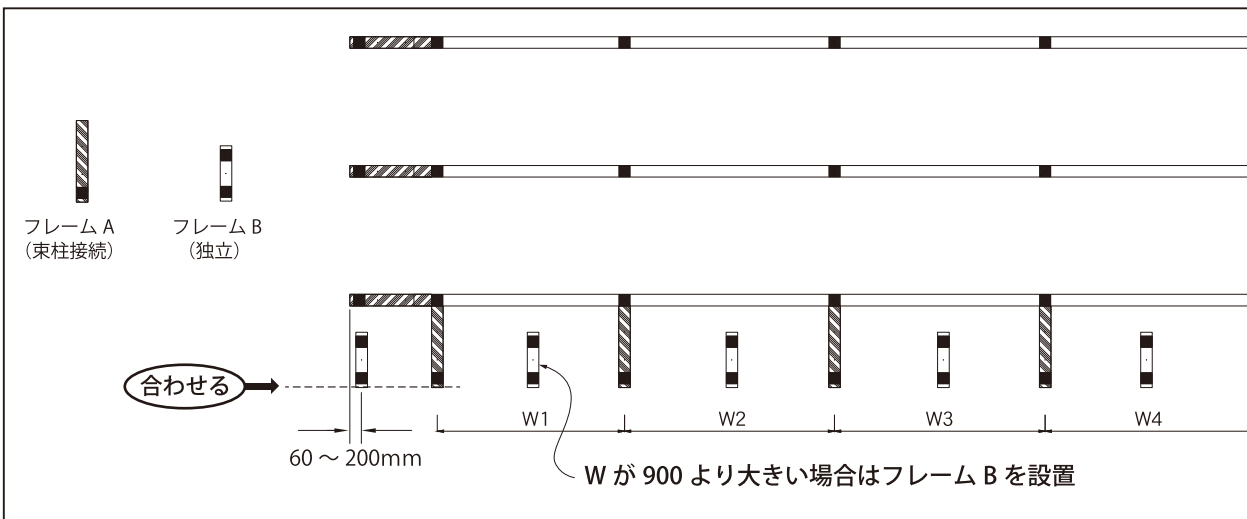
③ ステップ仕上高に合わせ、フレーム A 束柱を切断し、フレーム A 大引に取付けます。(仕上高-120mm)

④ デッキ本体の束柱に側面幕板固定金具を取付けます。

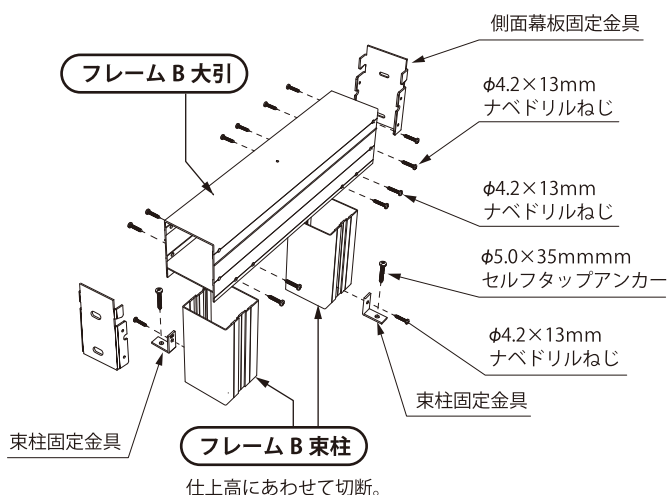
⑤ 束柱固定金具を**フレーム A 束柱**に取付け、基礎石にセルフタップアンカー用の穴 (φ4.3mm、深さ45mm) をあけます。

⑥ **フレーム A 大引**を側面幕板固定金具に取付けます。

⑦ 束柱をセルフタップアンカーで基礎石に固定します。



【2】フレーム B の組立て

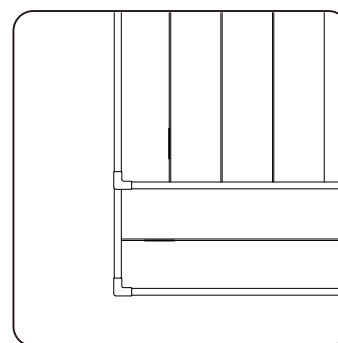
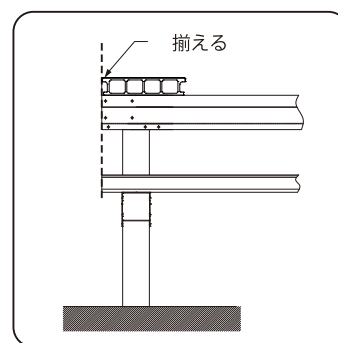
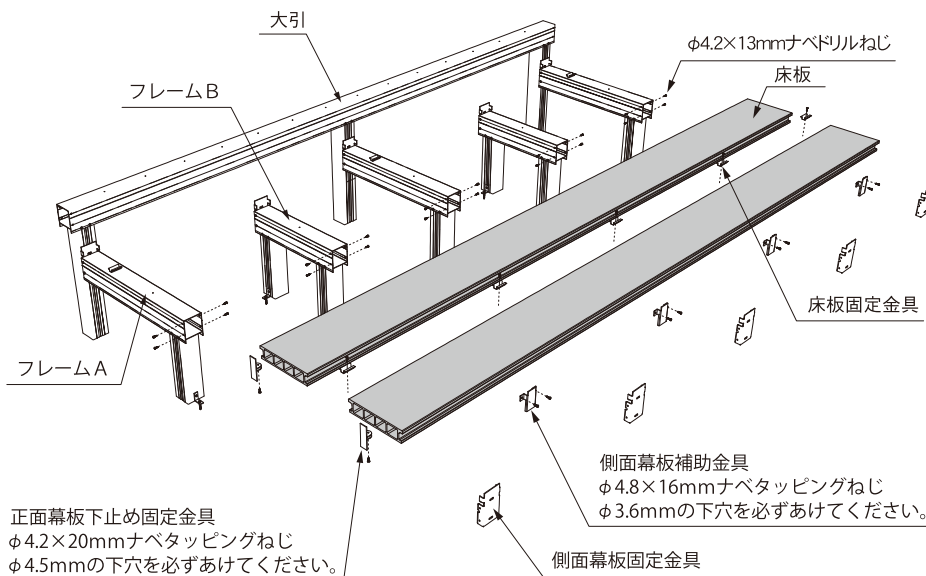


■フレーム B の組立手順

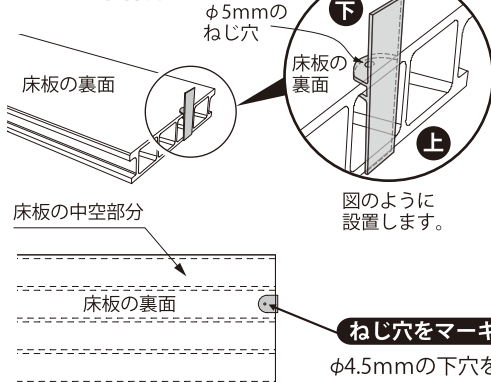
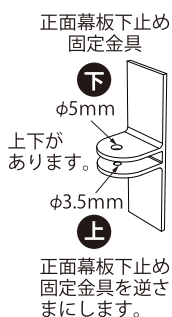
- ① フレーム B 大引の片側に側面幕板固定金具を取付けます。
- ② ステップの仕上高に合わせ、フレーム B 束柱を切断しフレーム B 大引に取り付けます。(仕上高-120mm)
- ③ 束柱固定金具を**フレーム B 束柱**に取り付けます。(左図のように取付箇所を交互にしてください。)
- ④ 設置説明図に準じて、位置を決定し基礎石に固定用の穴 (φ4.3mm、深さ 45mm) をあけセルフタップアンカーで固定します。

【3】床板の取付け

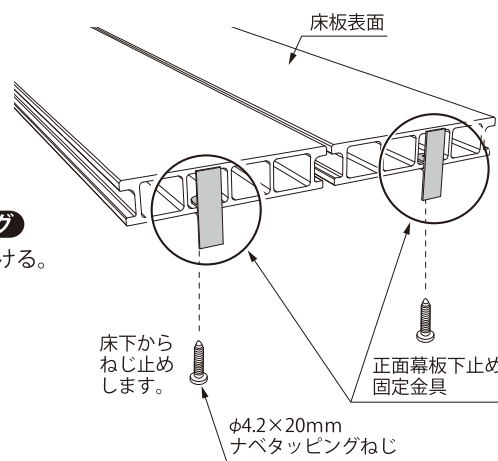
Point 取付方法はデッキ本体と同じです。(P31 参照)



■正面幕板下止め固定金具の取付方法

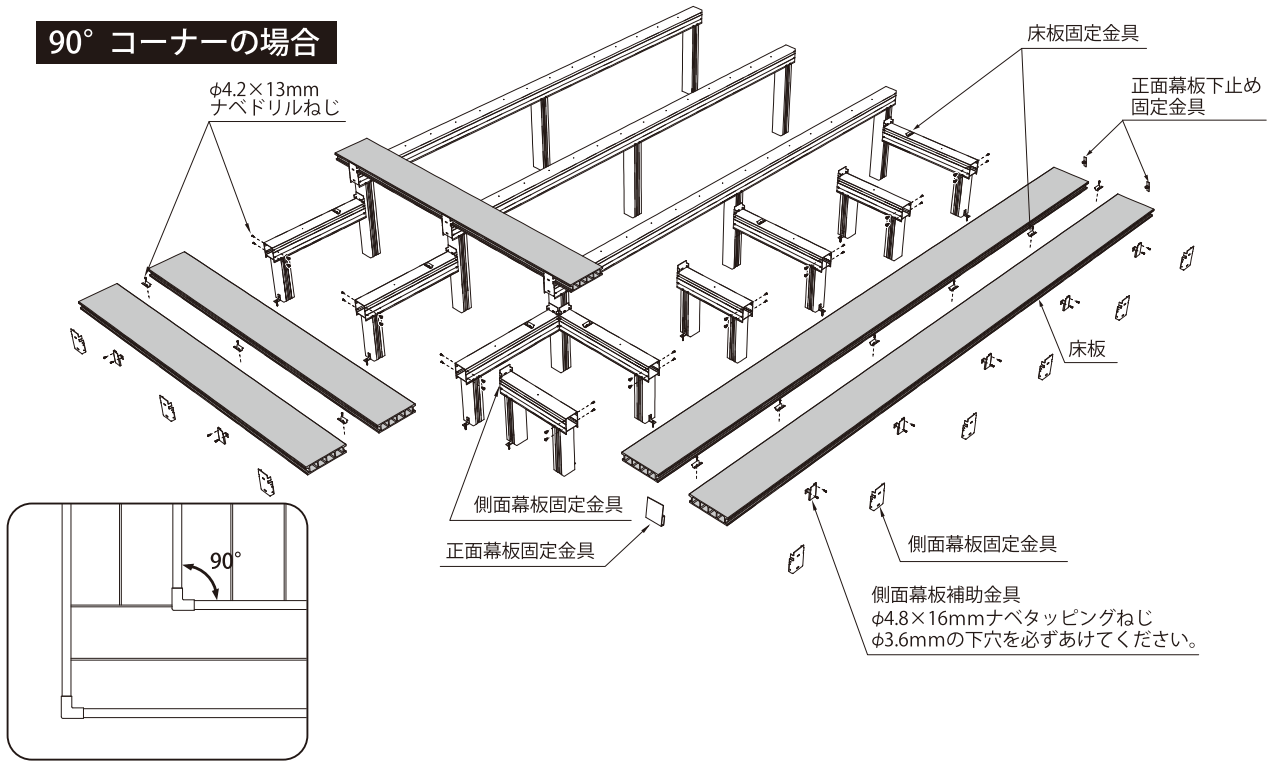


Point 床板と地面の距離が短い場合は床板に金具を先に取り付けてください。

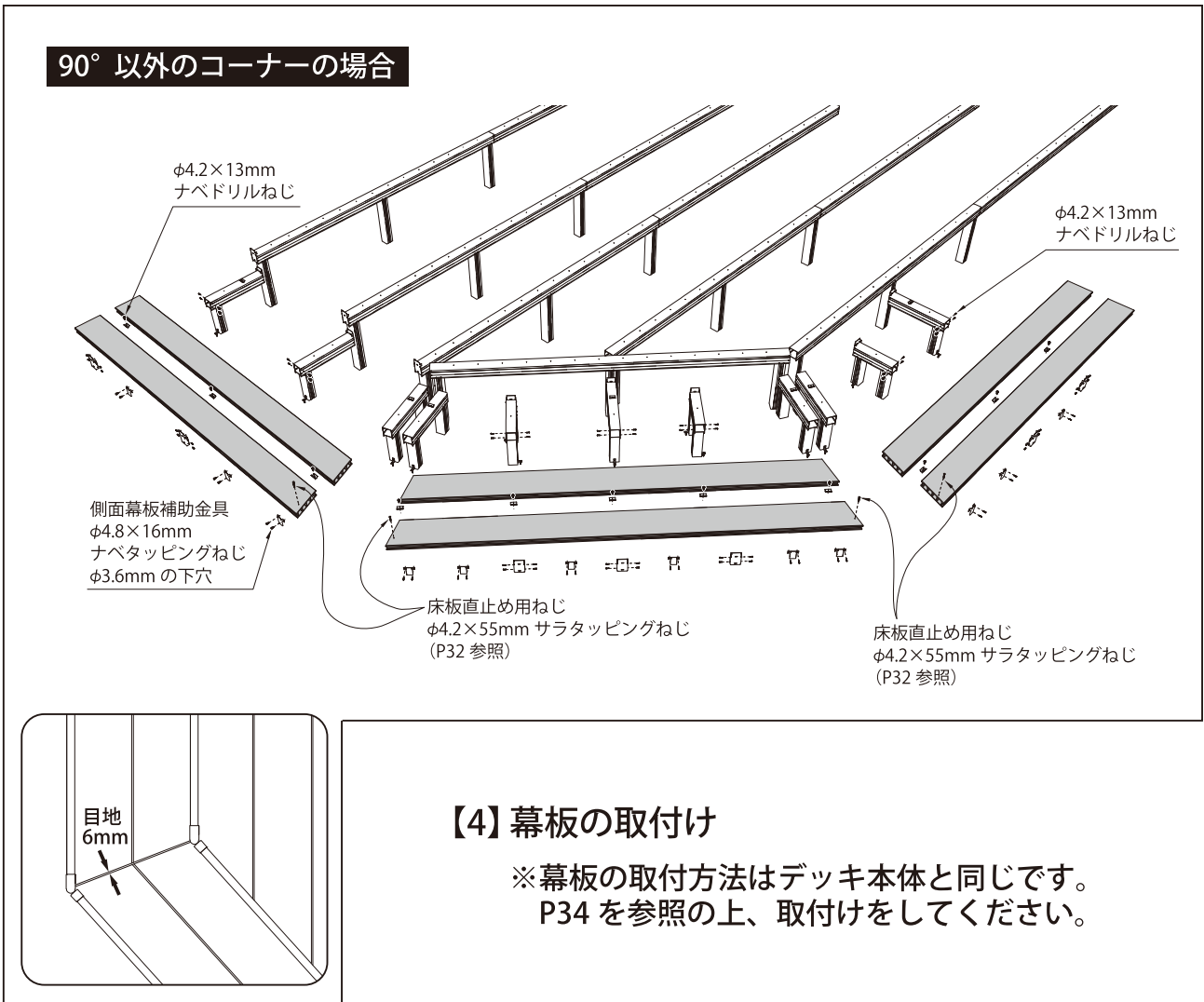


- ① 上図のように、床板裏面に正面幕板下止め固定金具をはめ金具のねじ穴にマーキングし、床板裏面にφ4.5mmの下穴をあけます。
- ② 床板を元に戻し、床板を設置後、再度正面幕板下止め固定金具を差込み、φ4.2×20mm ナベタッピングねじで床下からねじ止めします。金具の上下に注意してください。

90° コーナーの場合



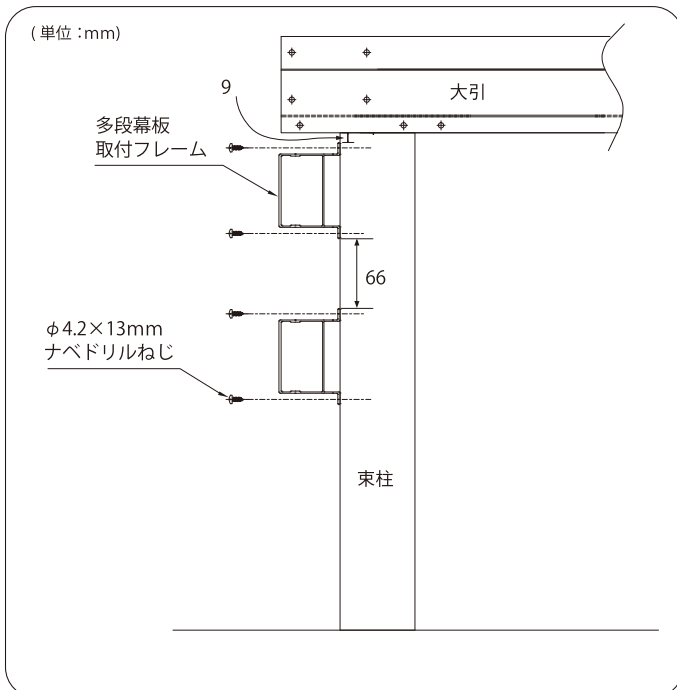
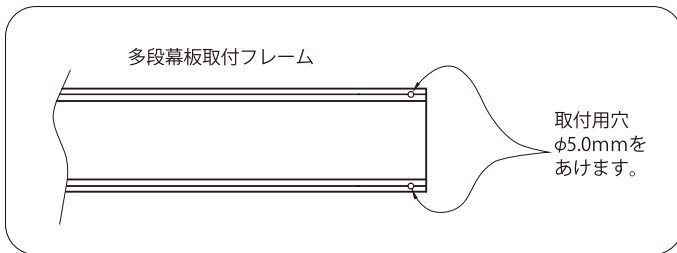
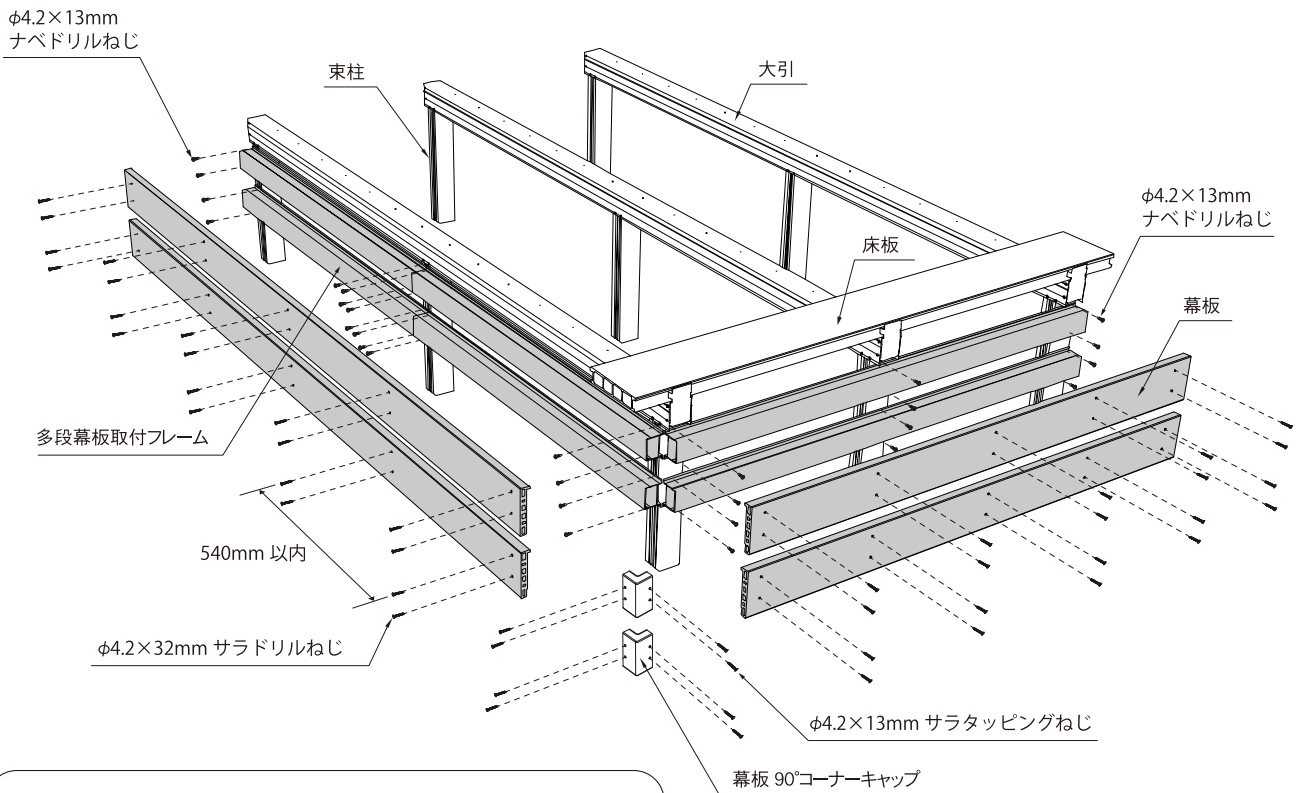
90° 以外のコーナーの場合



【4】幕板の取付け

※幕板の取付方法はデッキ本体と同じです。
P34 を参照の上、取付けをしてください。

フレームの連結は束柱センターであわせませす



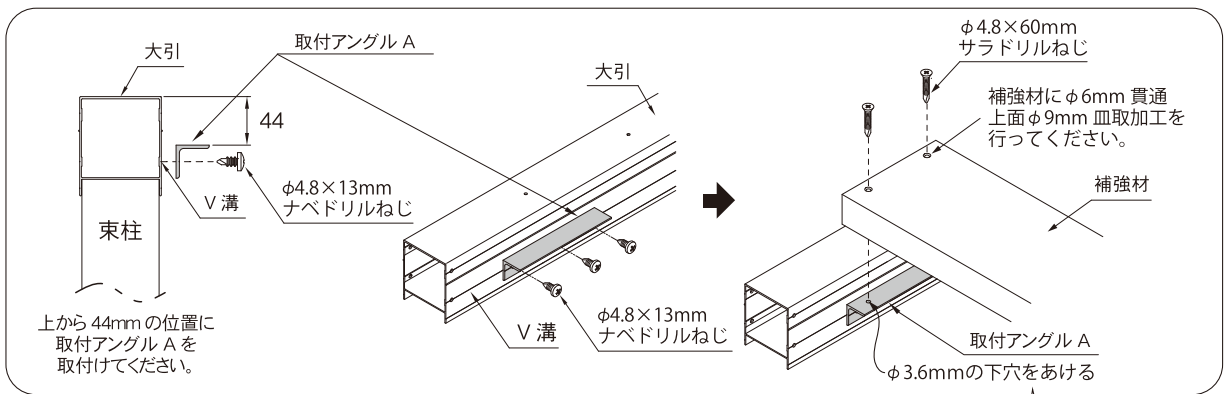
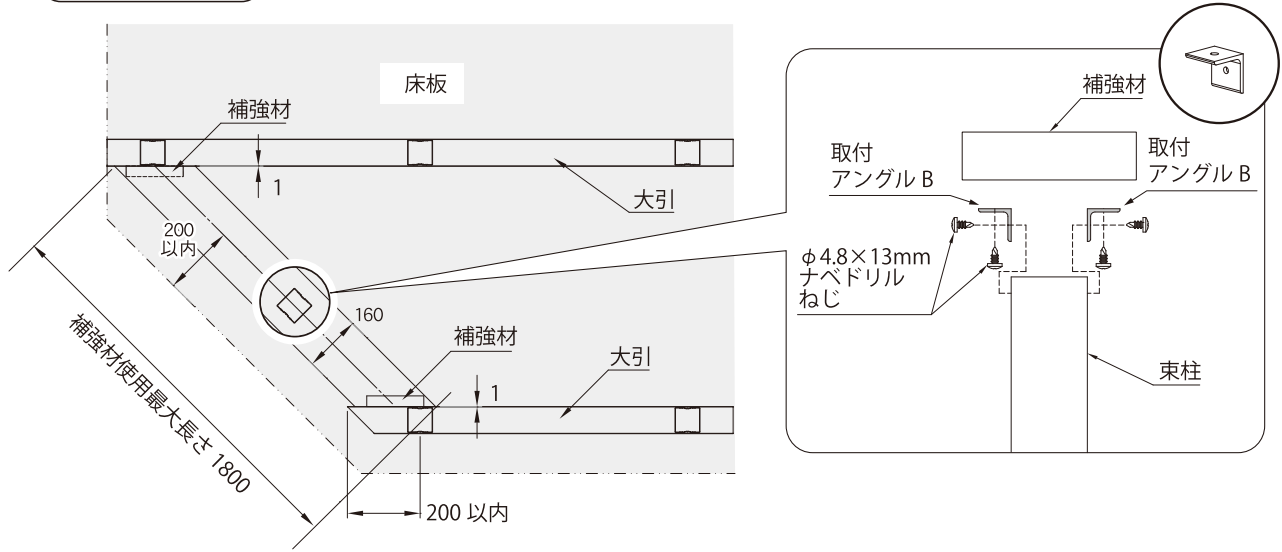
■多段幕板の取付手順

- ①多段幕板フレームを必要長さに切断します。
※連結する場合は、束柱センターにあわせませす。
- ②多段幕板フレームを束柱の位置に合わせて、
取付用穴（φ5.0mm）をあけ束柱にねじ止めし
ます。
- ③幕板を本体の幕板取付（P38 参照）と同様に
加工し多段幕板フレームに取付けませす。
幕板キャップ類も同様に取付けてくださませす。

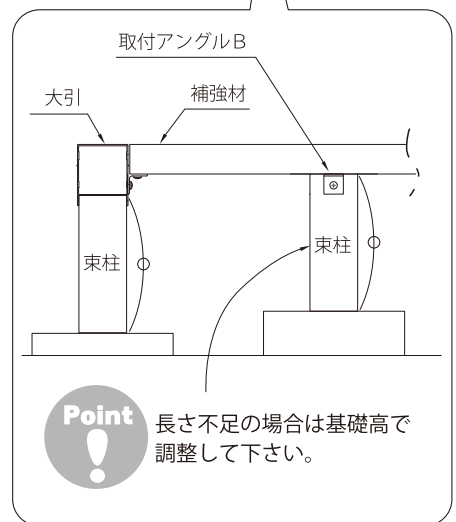
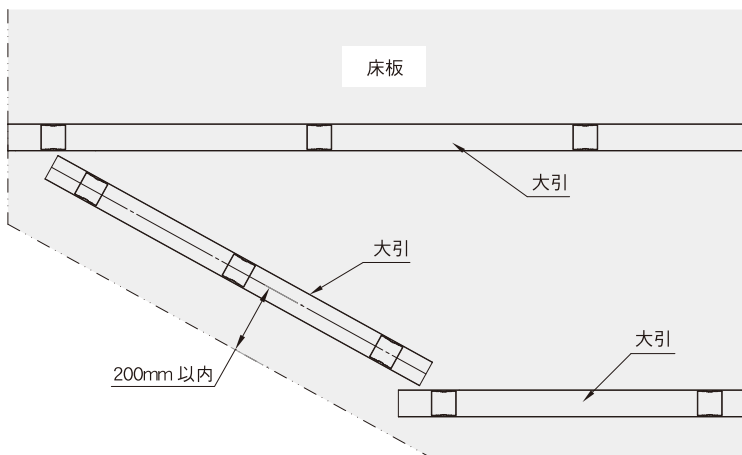
9

隅切りの施工 / 特殊納まりの加工

補強材の取付け (単位:mm)



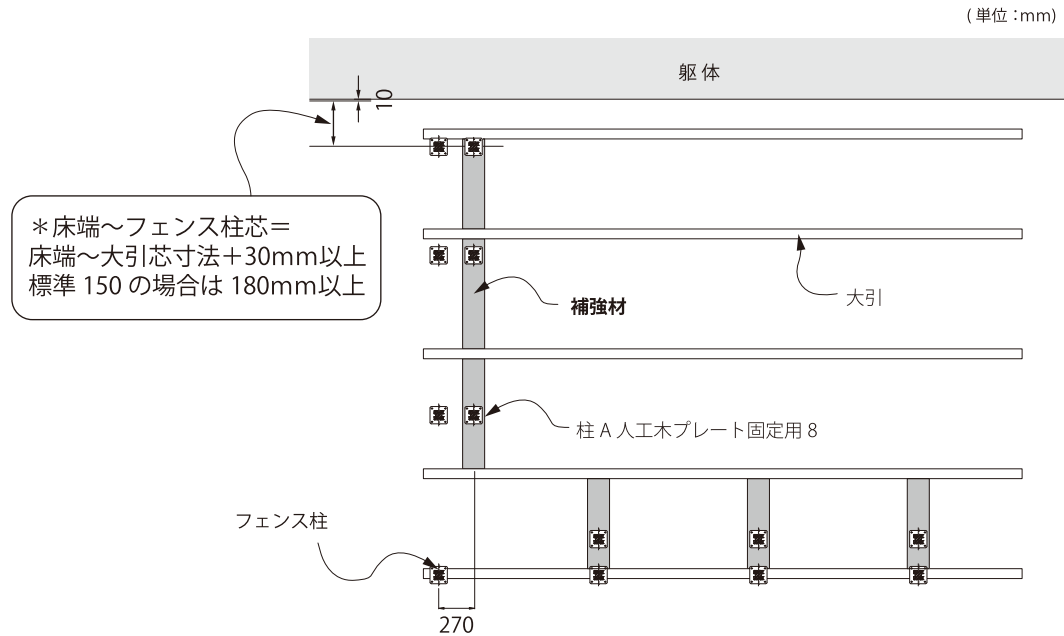
■補強材L 1800mm で不足の場合、大引を活用して独立で設置してください。



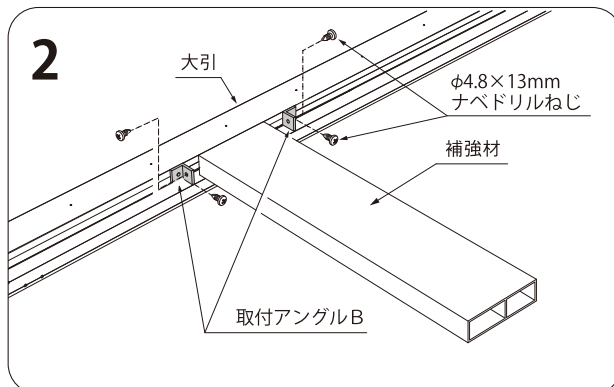
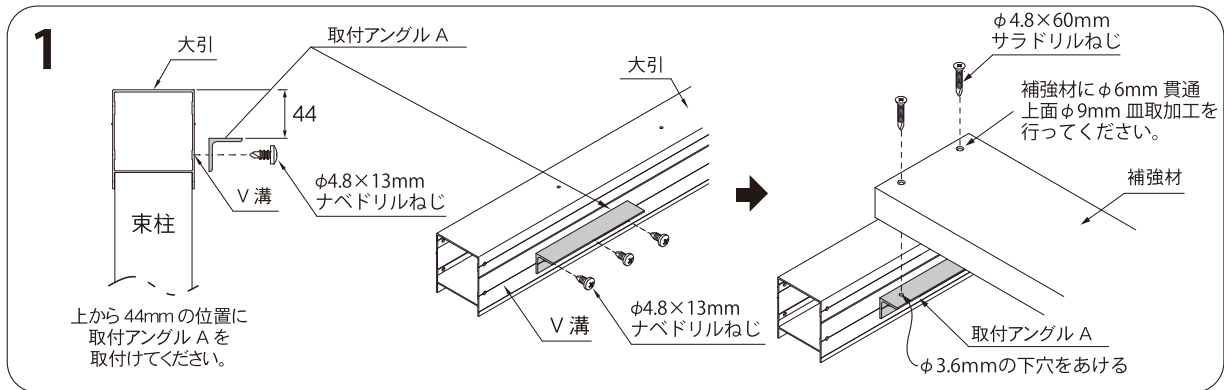
10

JJF-A1 型・A2 型フェンス H1800 の設置

控え柱の取付けに必要なため控え柱の取付位置に、事前に補強材を取付けてください。(下図参照)



現場の状況に応じて、下記の 1 または 2 のいずれかの方法で取付けをします。

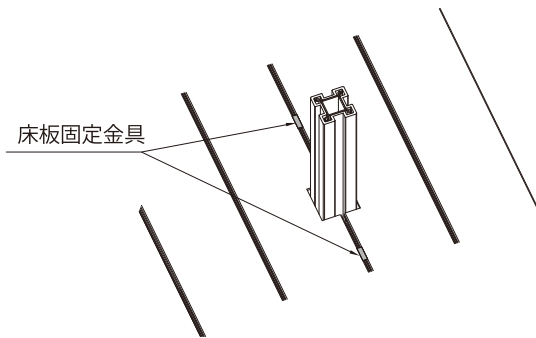


■補強材の取付手順

- ①取付場所に合わせ、合う長さに切断します。
- ②図の取付方法に準じ、補強材を取付けます。
- ③フェンスの取付けは、各フェンスの取付説明書をご覧ください。

11 デッキ設置に障害物がある場合（他社品）

■床板の処理



- ①柱に合わせて切り欠きます。
- ②柱の近くに床板固定金具を追加します。

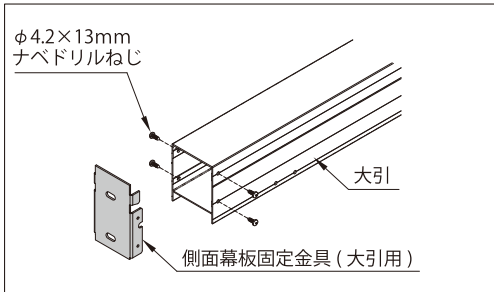


状況に合わせて追加補強等を実施してください。また、障害物とデッキを直接連結させないでください。

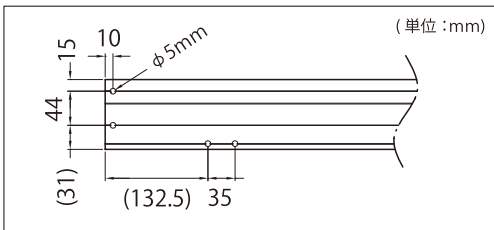
【1】側面幕板取付金具（大引用）の取付け

床板を取付けはじめる前に、側面幕板金具を大引に固定してください。

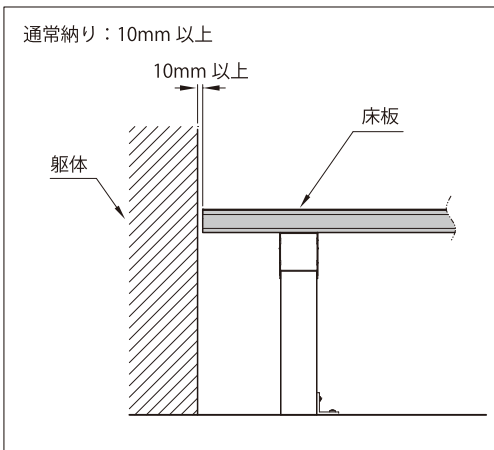
Point 反対側は床板を取付け終わってから取付けてください。



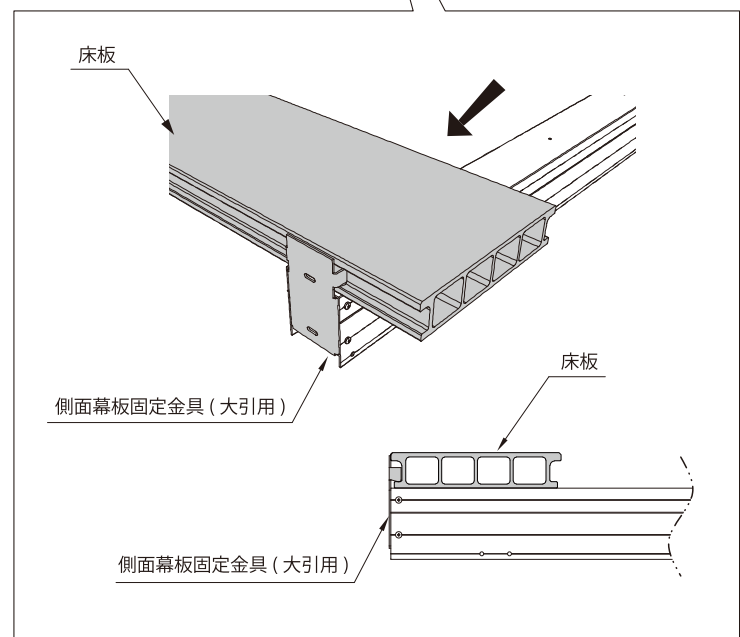
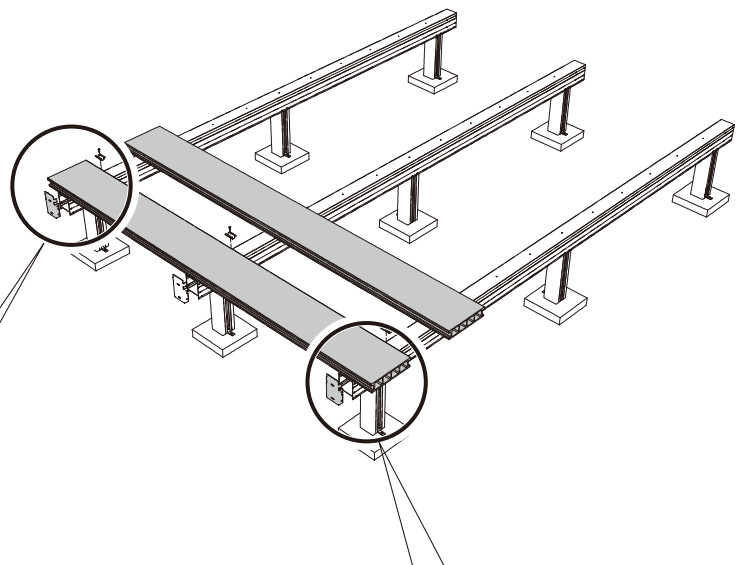
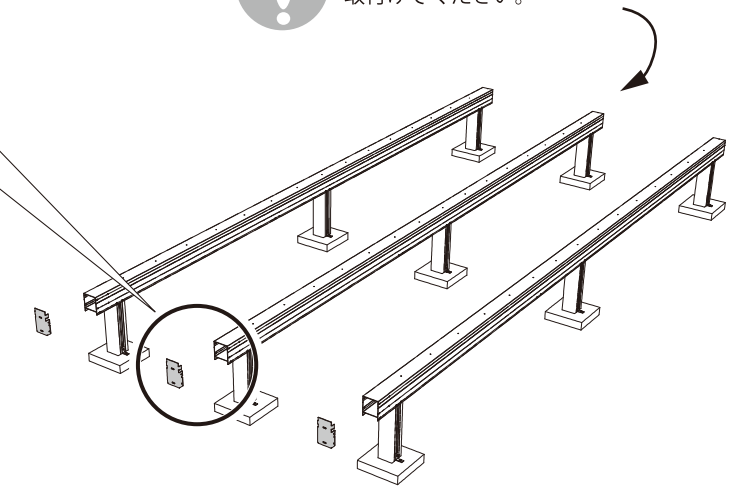
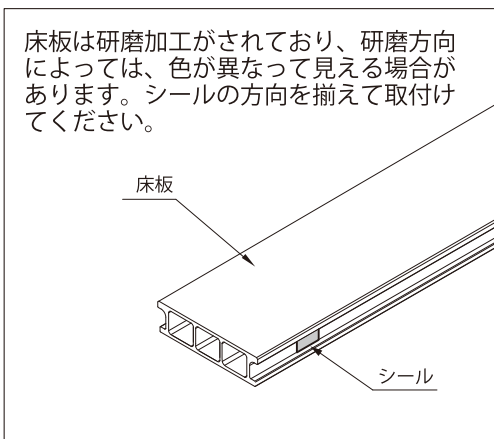
Point 大引を切断した場合は、図bを参照して穴加工をしてください。



【2】床板の取付け



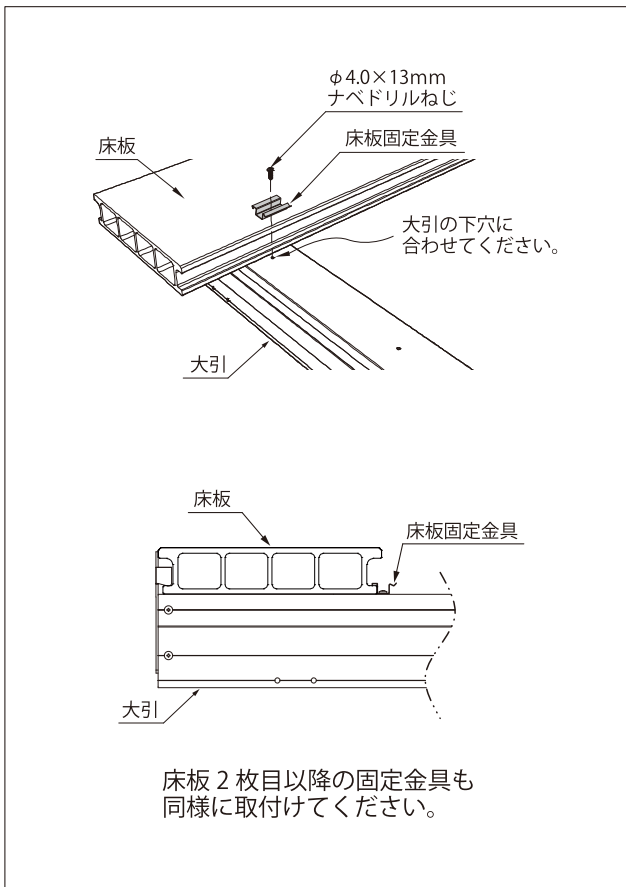
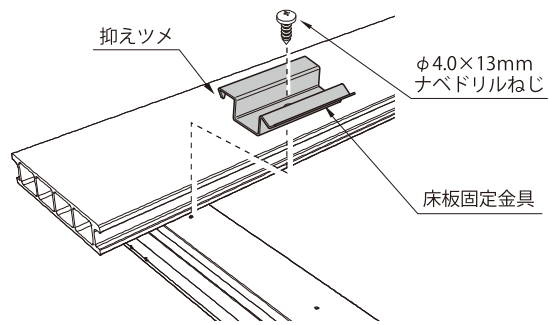
床板は研磨加工がされており、研磨方向によっては、色が異なって見える場合があります。シールの方向を揃えて取付けてください。



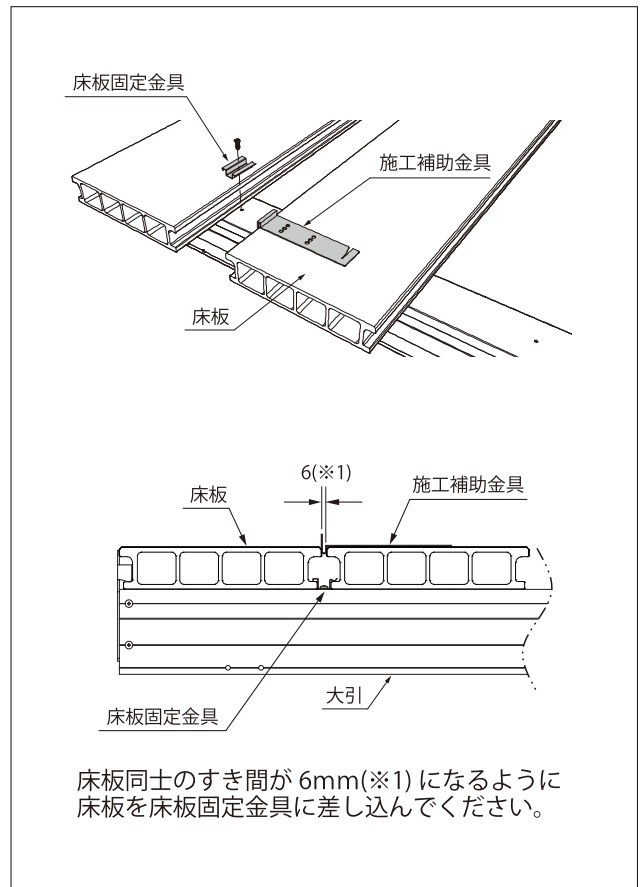
■ 中間部の取付け



床板固定金具には向きがあります。

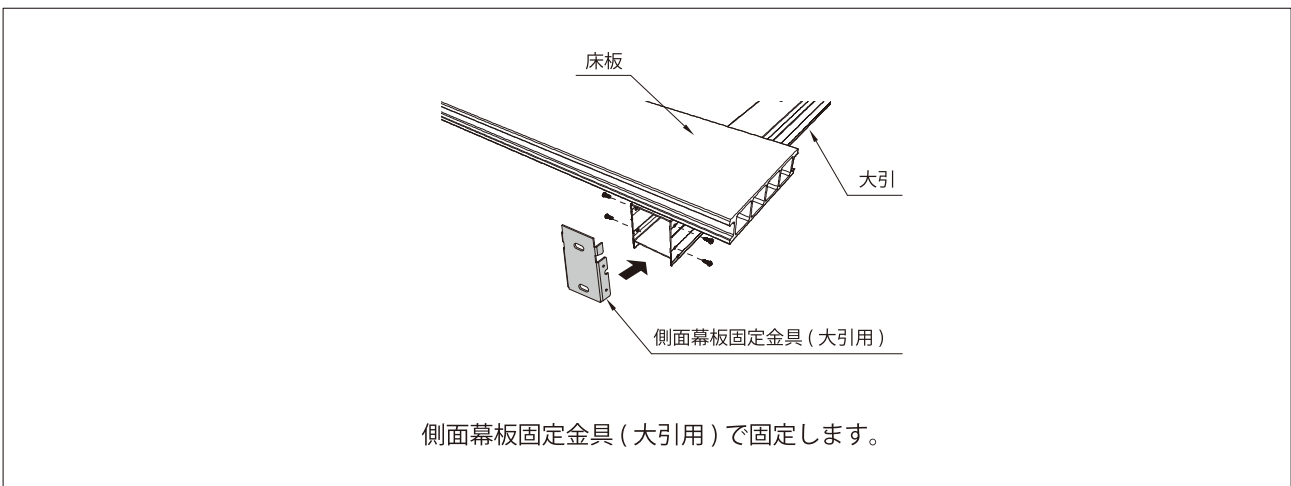


床板 2 枚目以降の固定金具も同様に取付けてください。



床板同士のすき間が 6mm(※1) になるように床板を床板固定金具に差し込んでください。

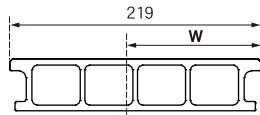
■ 端部 (最終) の取付け



側面幕板固定金具 (大引用) で固定します。

床板の間口調整

縦切り

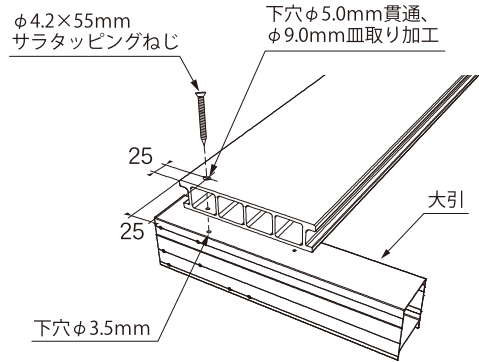


■床板の幅詰め **×** は幅詰め不可 (単位:mm)

$W < 67$	×
$67 \leq W \leq 75$	スペーサーなし
$75 < W < 87$	×
$87 \leq W \leq 102$	スペーサー要
$102 < W < 113$	×
$113 \leq W \leq 121$	スペーサーなし
$121 < W < 133$	×
$133 \leq W \leq 148$	スペーサー要
$148 < W < 159$	×
$159 \leq W \leq 167$	スペーサーなし
$167 \leq W \leq 179$	×
$179 \leq W \leq 195$	スペーサー要
$195 \leq W \leq 206$	×
$206 \leq W \leq 219$	スペーサーなし

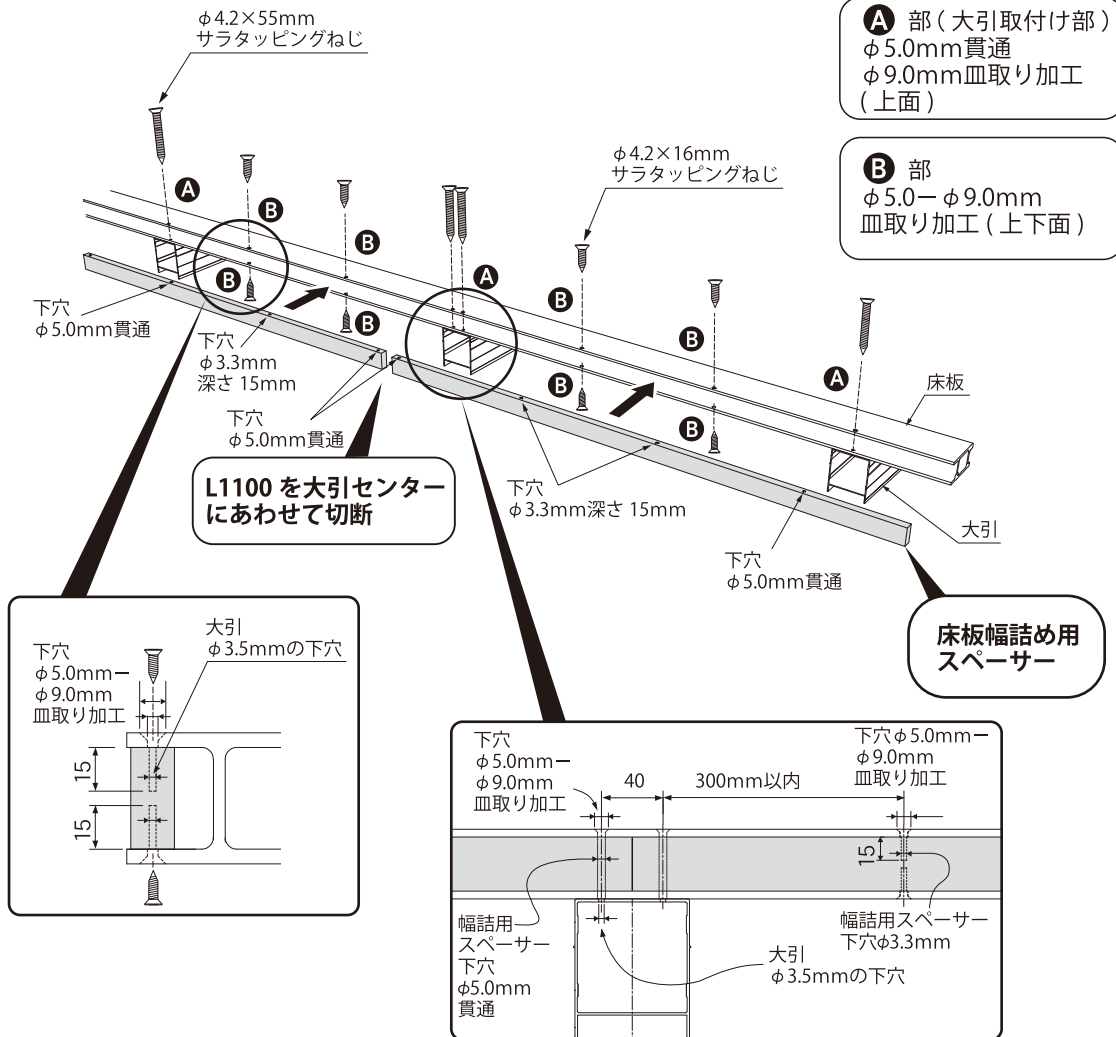
床板を直止めする場合

床板直止め用 ねじ使用



床板の間口調整／幅詰めをする場合

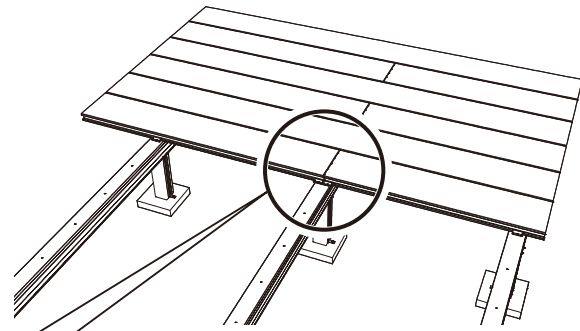
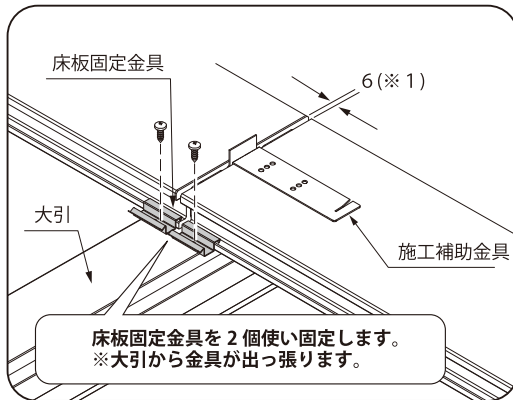
■床板幅詰め用スペーサーの取付け



床板を縦連結する場合

Point

床板を縦連結する場合は、必ず、千鳥張りにしてください。千鳥張りにしないと床板が変形するおそれがあります。



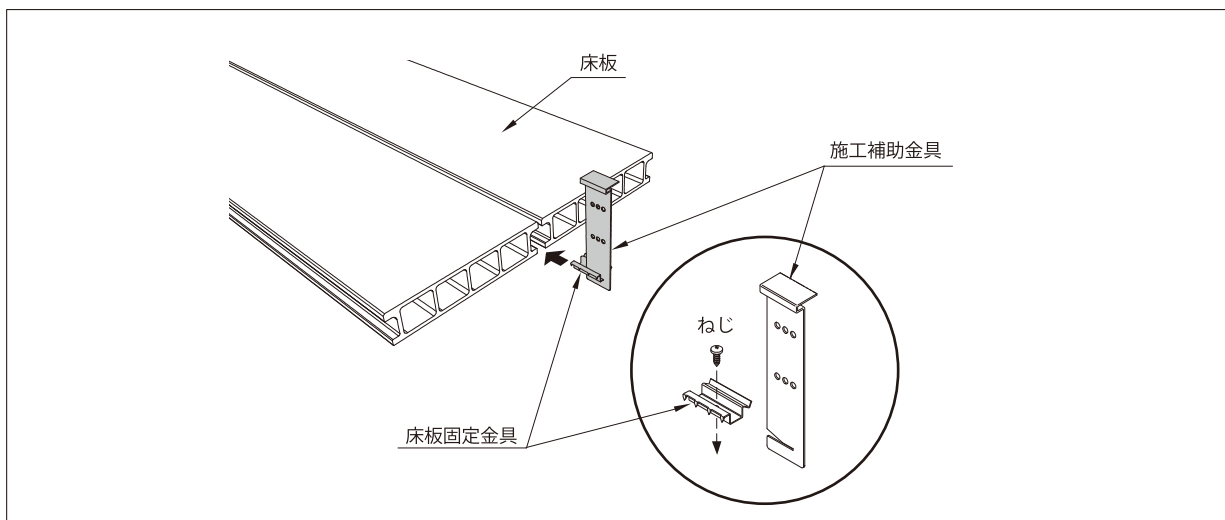
床板の連結は必ず、大引の上で行ってください。施工補助金具を使用した場合、床板連結部の目地は6mm(※1)になります。連結部の床板小口は軽く(1mm程度)面取りします。



注意

人工木の特性上、寒暖で伸び縮みが発生します。
真夏：6mm程度の伸び
真冬：6mm程度の縮み
必要に応じて施工時に目地幅を調整してください。

床板固定金具の後入れ方法



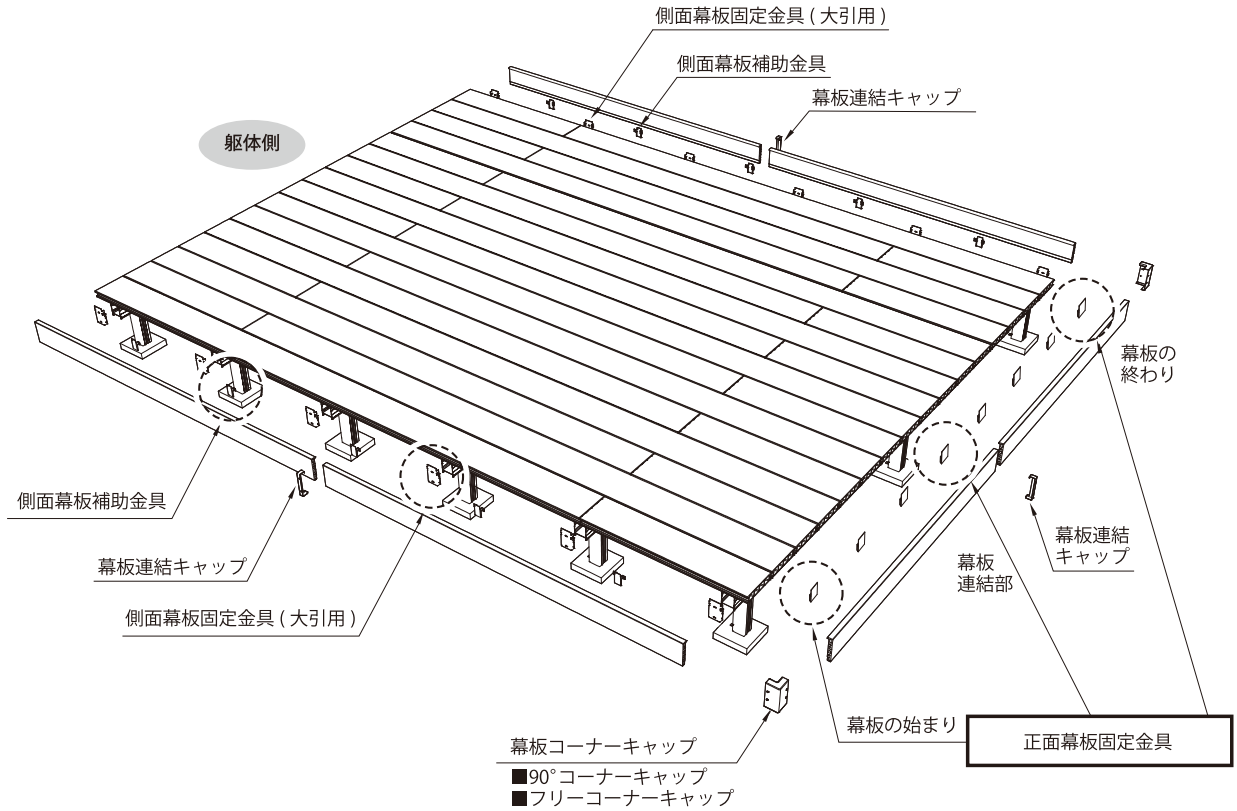
くり貫きはP43を参照してください。
点検口は点検口取付説明書を参照してください。

13

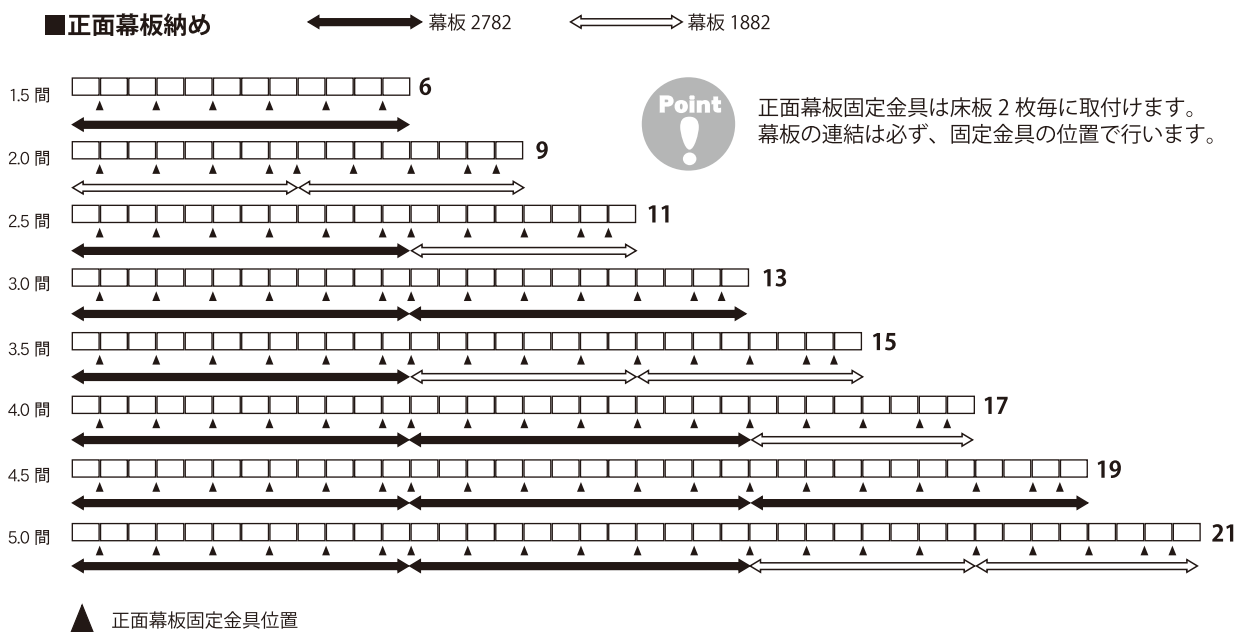
幕板の施工



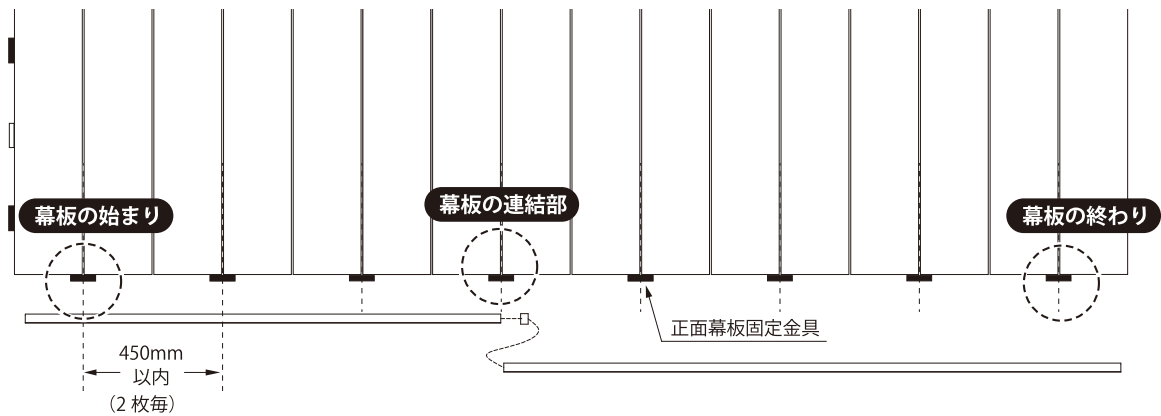
フェンスを取付ける場合は、幕板を取付ける前にフェンスを取付けることをお勧めします。詳しくは「フェンス組立説明書」をご覧ください。



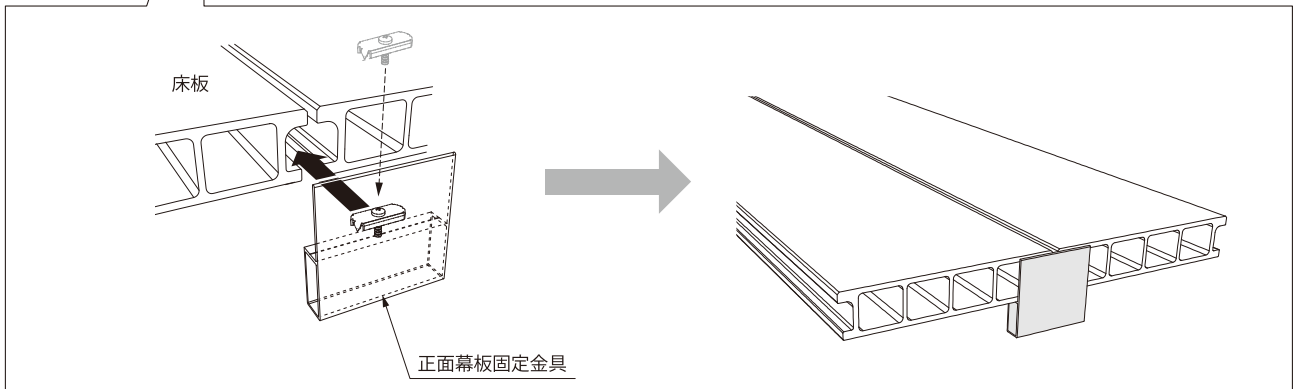
■正面幕板納め



【1】正面幕板固定金具の取付け



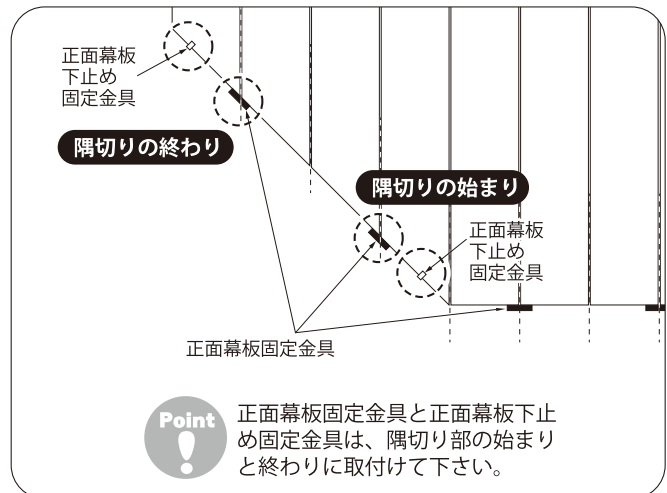
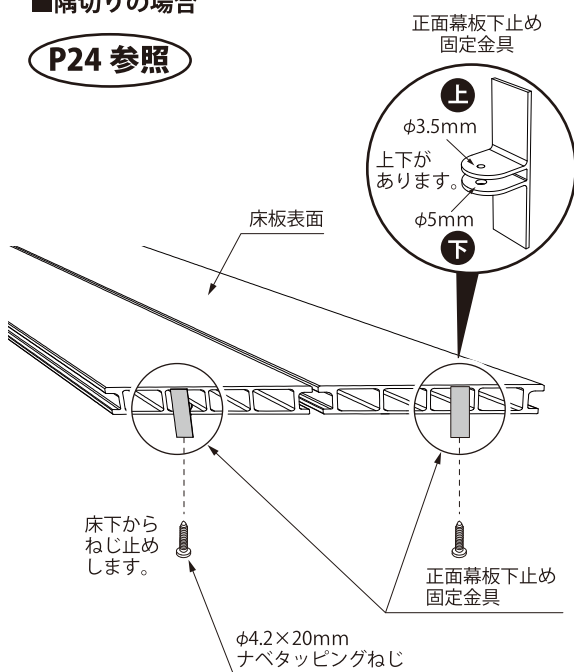
取付けピッチは、450mm 以内 (床板 2 枚毎) にしてください。
正面幕板の始まりと終わり、および幕板連結部に取付けてください。
※ステップを取付ける際は P37 を参照してください。



【2】正面幕板下止め固定金具の取付け

■隅切りの場合

P24 参照



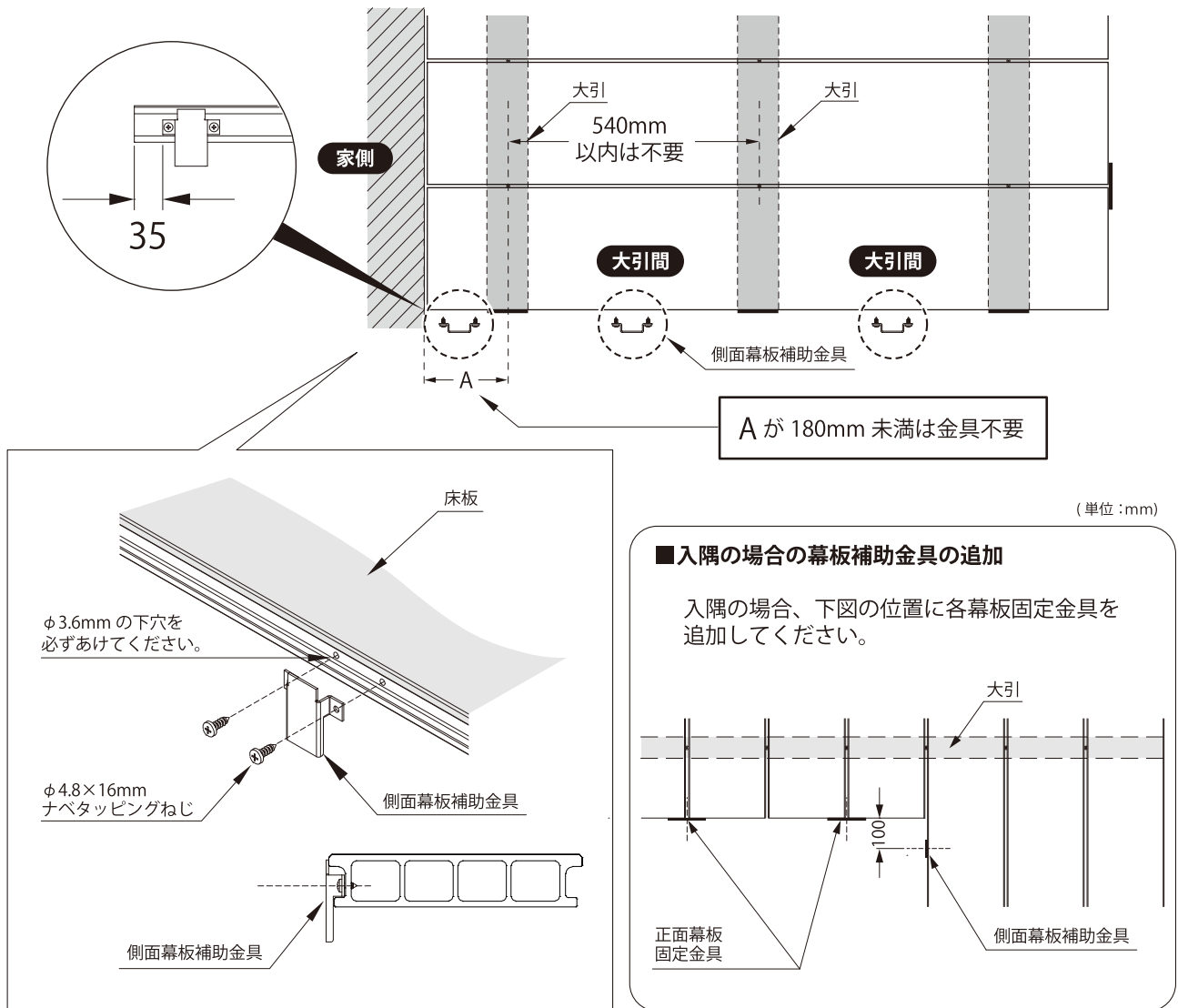
正面幕板固定金具と正面幕板下止め固定金具は、隅切り部の始まりと終わりに取付けて下さい。

- ①正面幕板下止め固定金具は P24 に準じてφ4.5mm の下穴をあけてください。
- ②床板を元に戻し、床板を設置後、再度正面幕板下止め固定金具を差込み、φ4.2×20mm ナベタッピングねじで床下からねじ止めします。金具の上下に注意してください。

【3】側面幕板補助金具の取付け

側面幕板補助金具を取付ける位置を確認してください。

Point 家側と大引間に取り付けてください。大引の芯々が540mm以内の場合は不要です。必ず幕板連結部に取り付けてください。



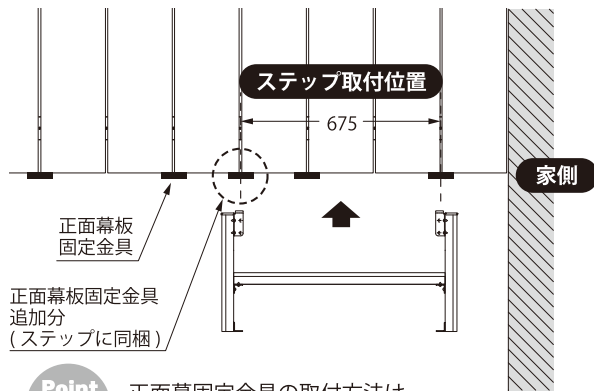
■ステップを取付ける場合



ステップの踏板の幅詰め加工をした場合、正面・側面幕板金具等を用いて現場採寸での調整を要します。尚、追加分の金具類はステップに同梱されています。

■正面への取付け例①

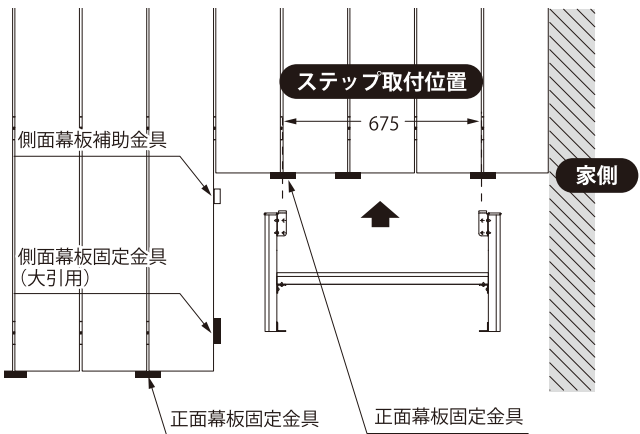
金具の無い場所に設置する場合



Point 正面幕固定金具の取付方法は P35 をご参照ください。

■正面への取付け例②

正面幕板固定金具のある位置に設置する場合

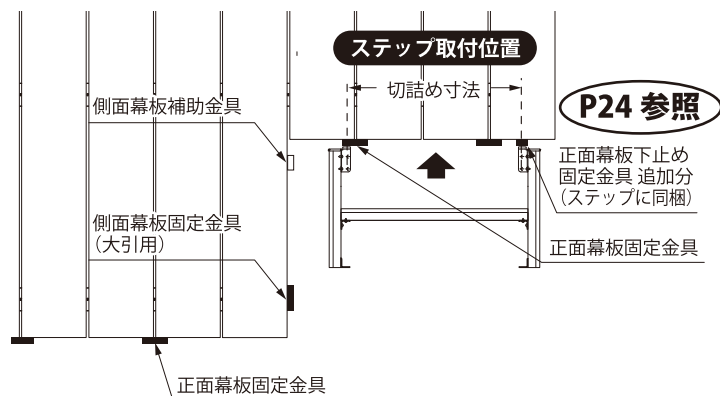


■正面への取付け例③ (踏板の幅を切り詰めた場合)

床板の中間に設置する場合

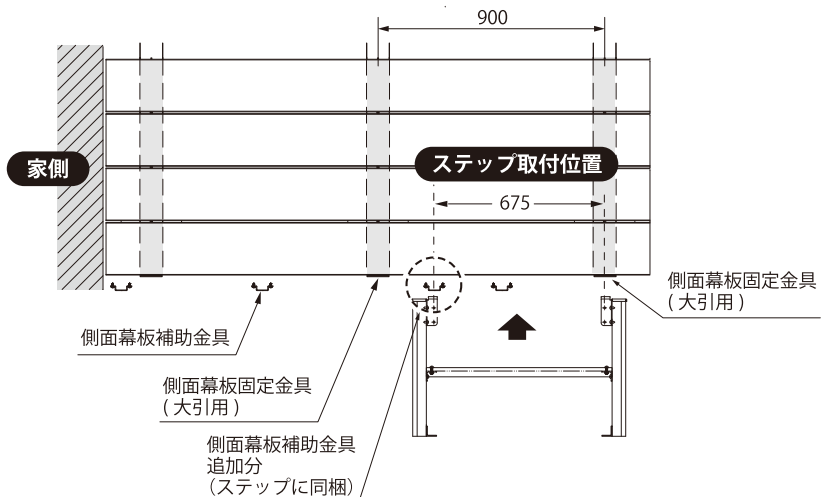
Point 踏板の切り詰め方法は別途ステップの取付説明書をご参照ください。正面幕板下止め固定金具の取付方法は P24 をご参照ください。

注意 デッキ幅が 0.5 間の場所にはステップは取付けられませんので踏板のカットが必要です。



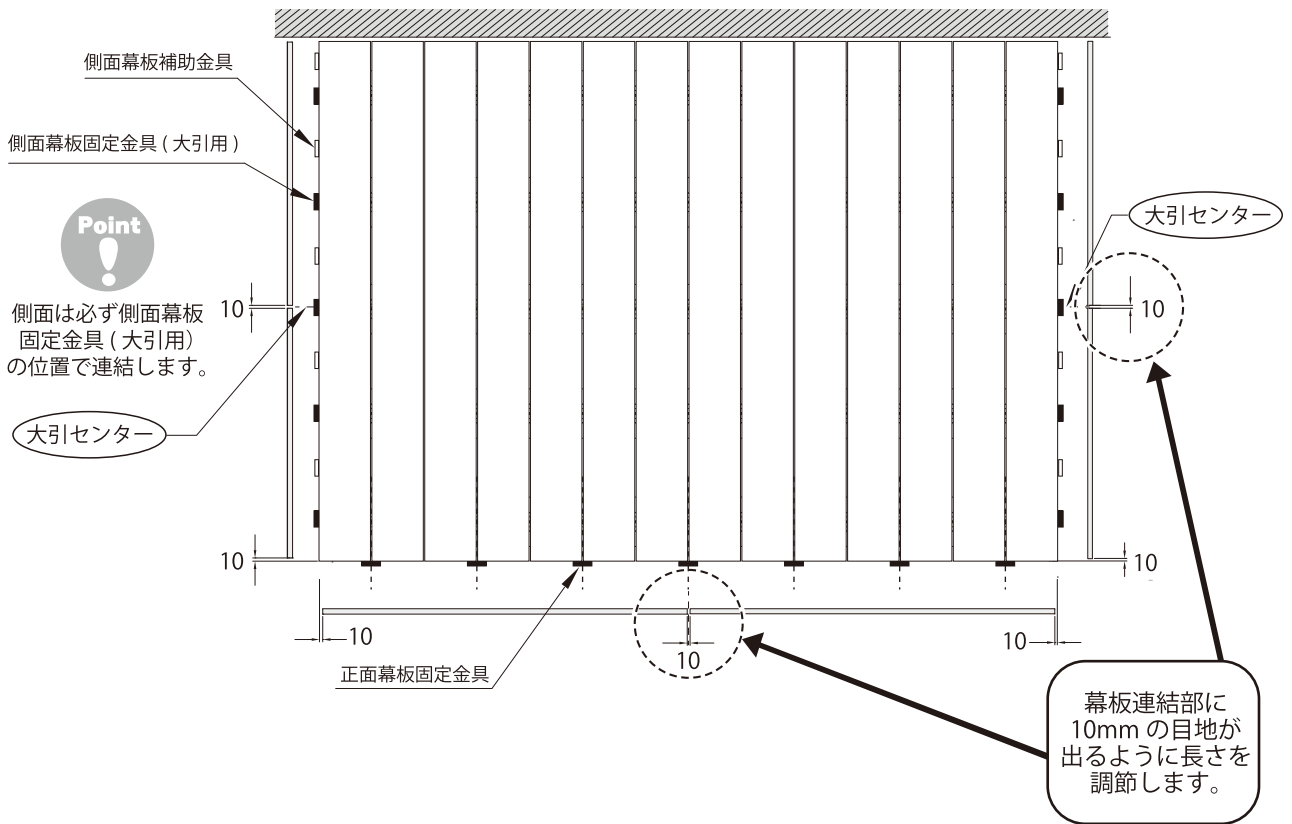
■側面への取付け例

Point 側面幕板補助金具の取付方法は P36 をご参照ください。



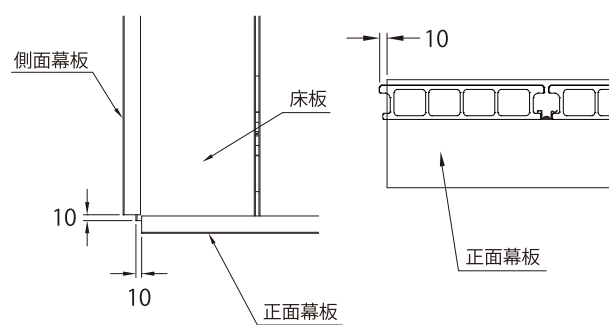
【4】幕板の加工

■幕板の切断調整

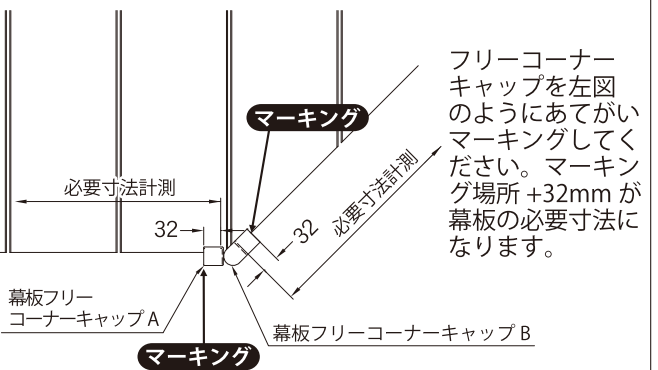


(単位:mm)

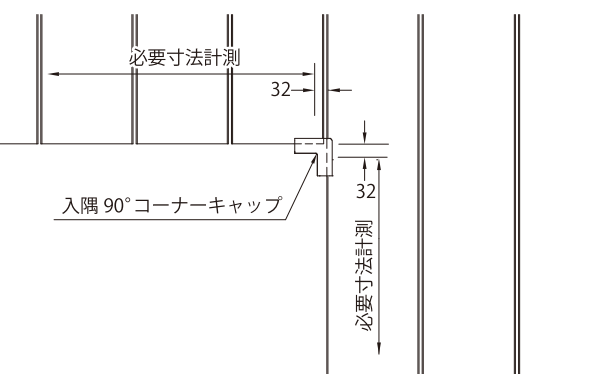
■90° コーナー (出隅仕様) の場合



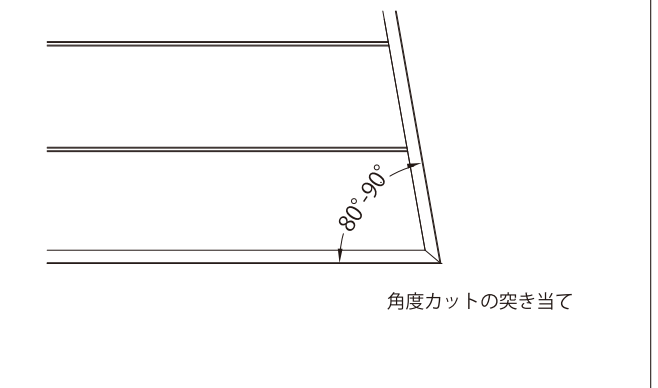
■その他の角度の場合



■入隅90°コーナーの場合



■鋭角の場合



■幕板マーキング



施工補助金具を使ってマーキングをする際は、指定の穴以外の穴を使用しますと幕板を固定できなくなりますのでご注意ください。
マーキングをして下穴加工する際には、一旦おろして穴加工をしてください。



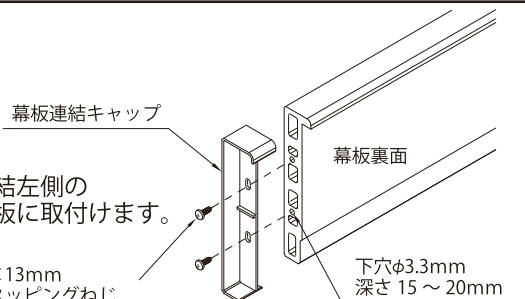
幕板に連結がある場合は、先に連結キャップを取付けます。



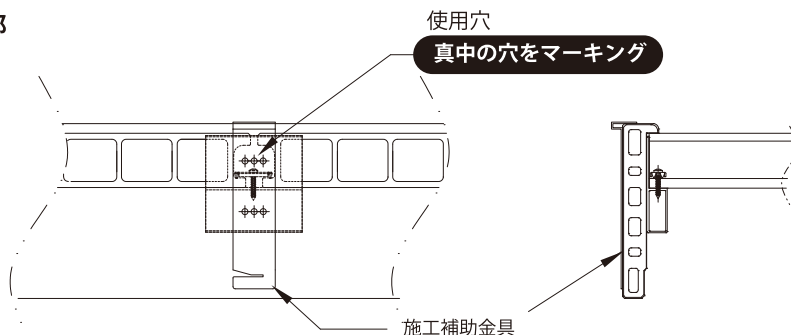
キャップ穴にあわせ下穴加工を必ずおこなってください。
φ3.2mm 深さ 15～20mm

※連結左側の幕板に取付けます。

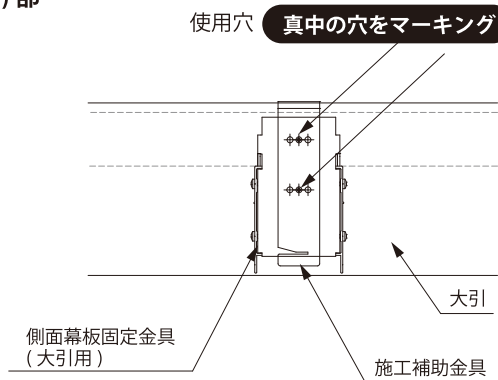
φ3.5×13mm
ナベタッピングねじ
(手締めしてください。)



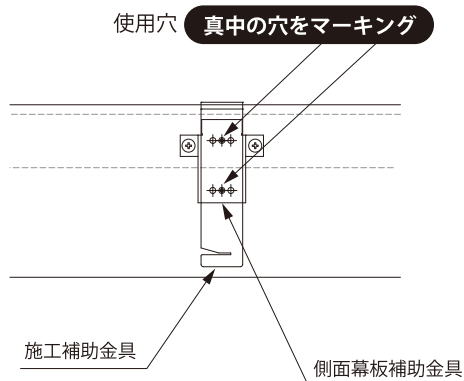
■正面幕板固定金具部



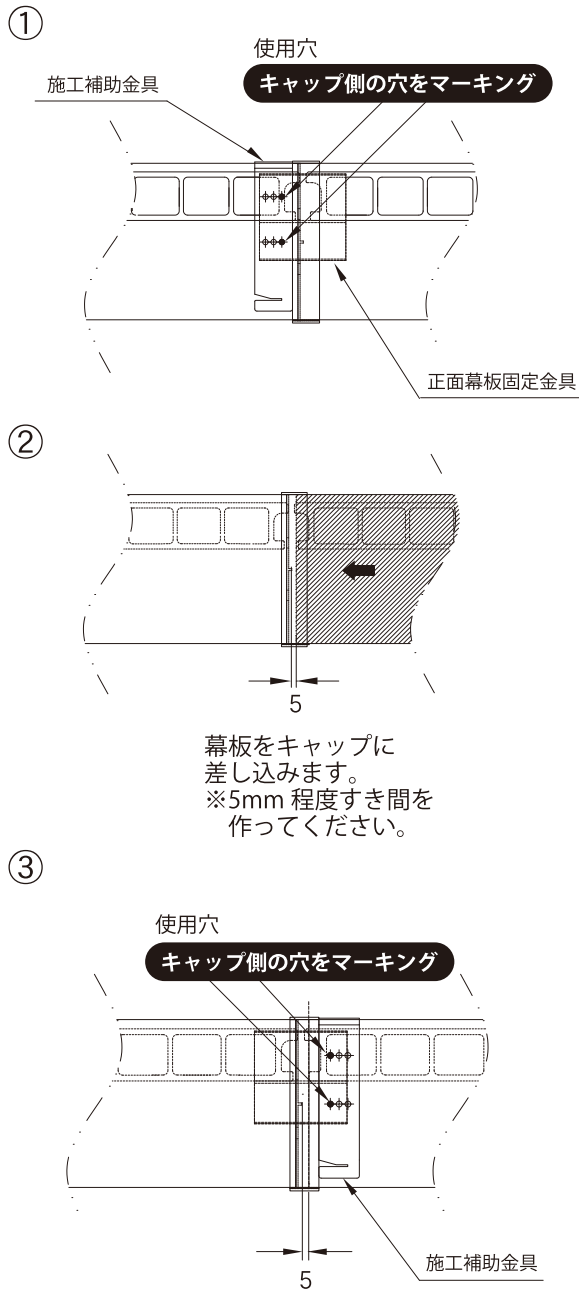
■側面幕板固定金具 (大引用) 部



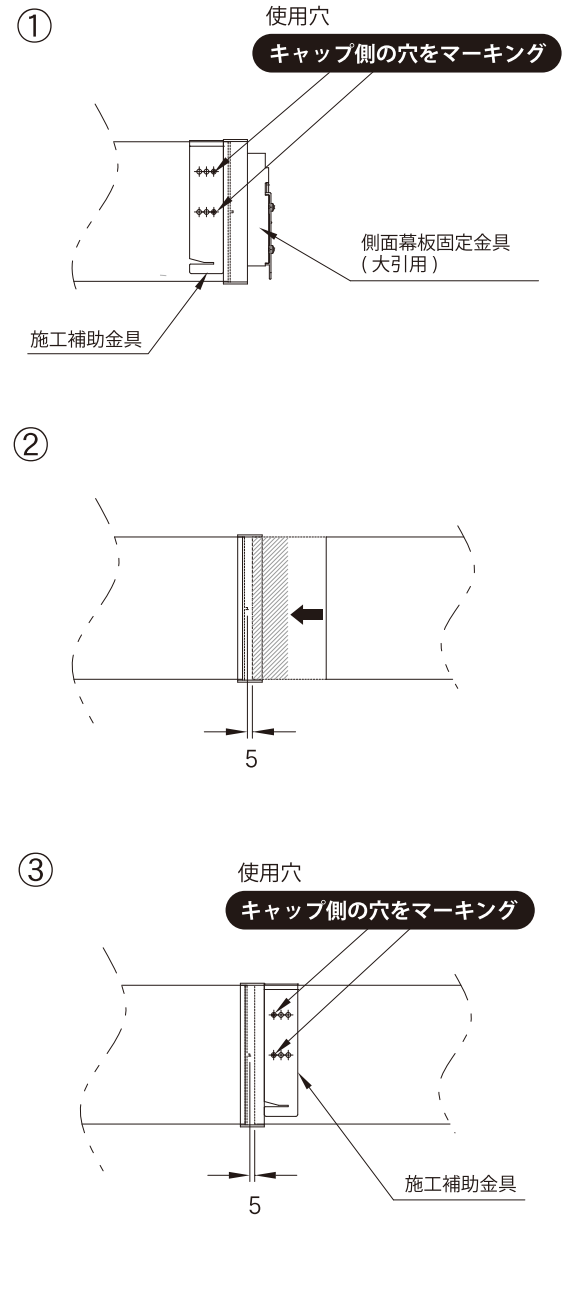
■側面幕板補助金具部



■正面幕板連結の場合

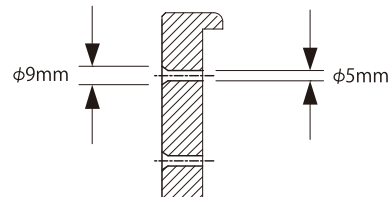
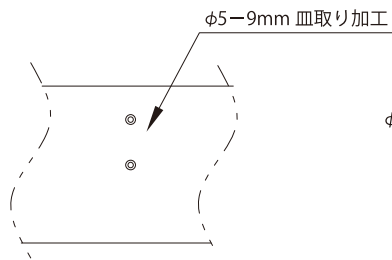


■側面幕板連結の場合



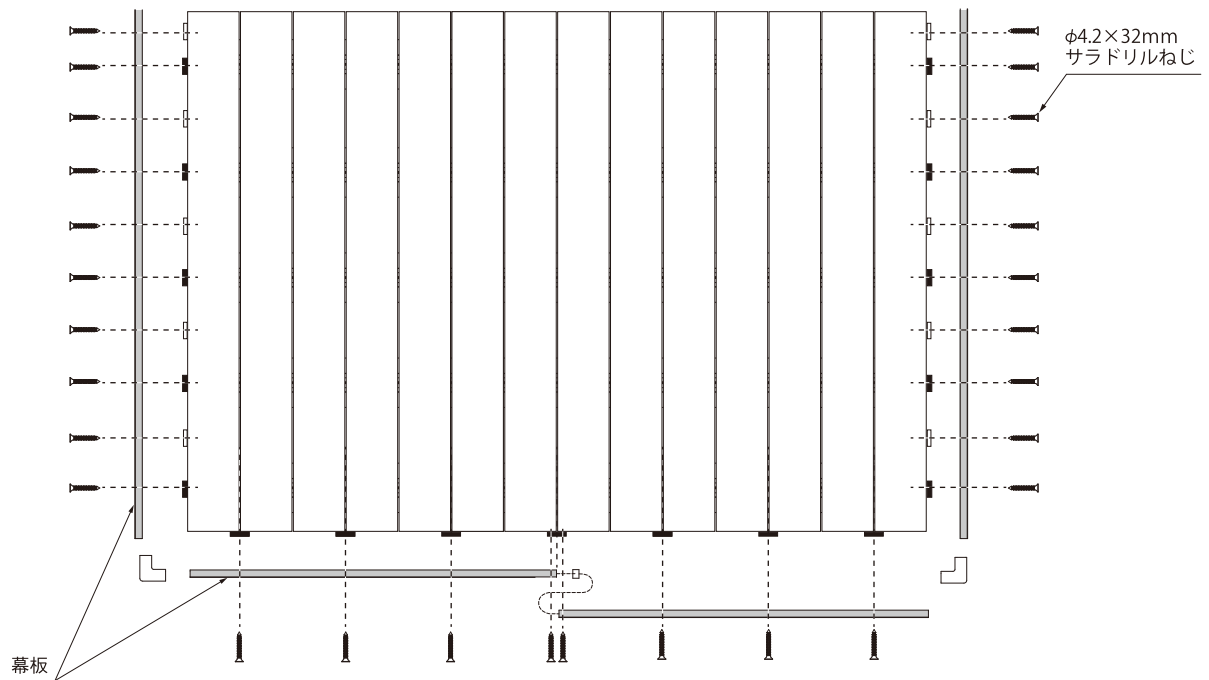
■幕板の穴加工

皿取り加工

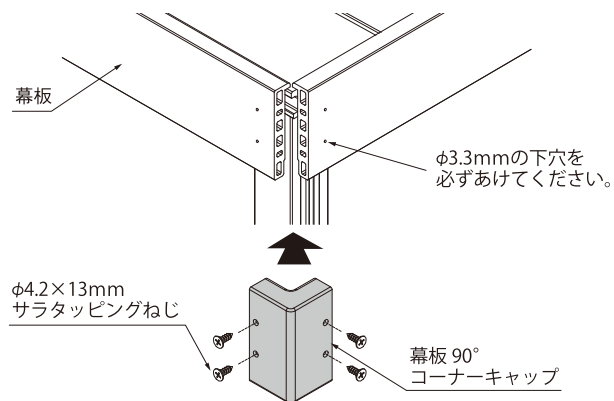


【5】幕板の取付け

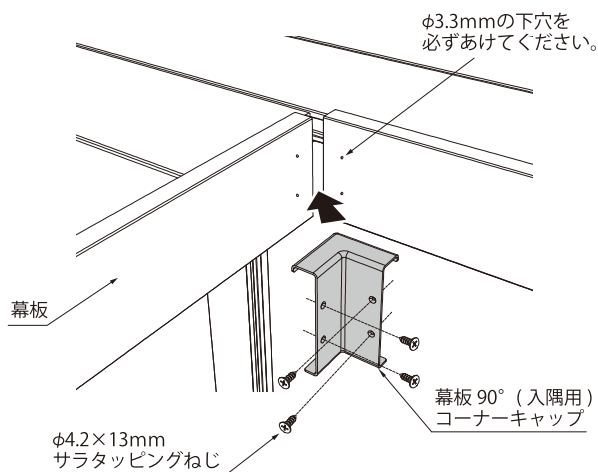
下穴加工が済みましたら、幕板を取付けます。



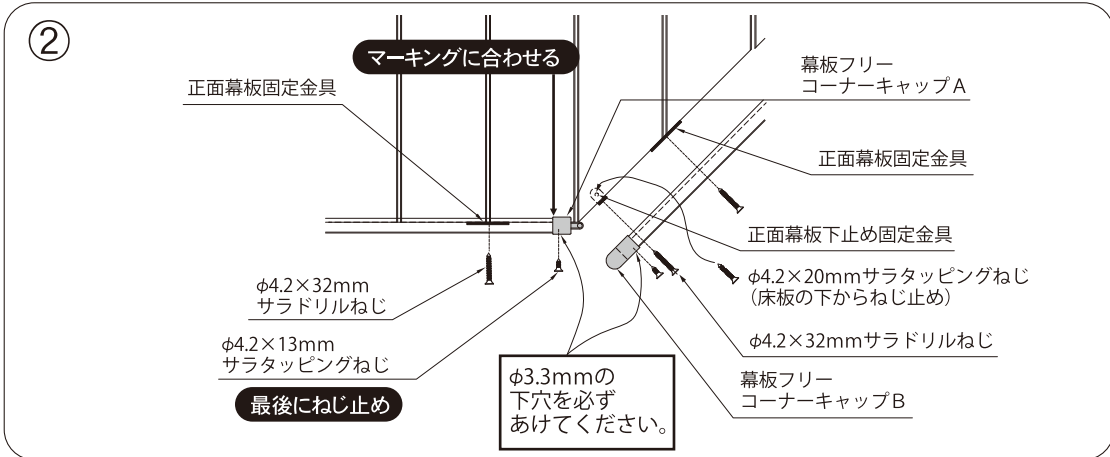
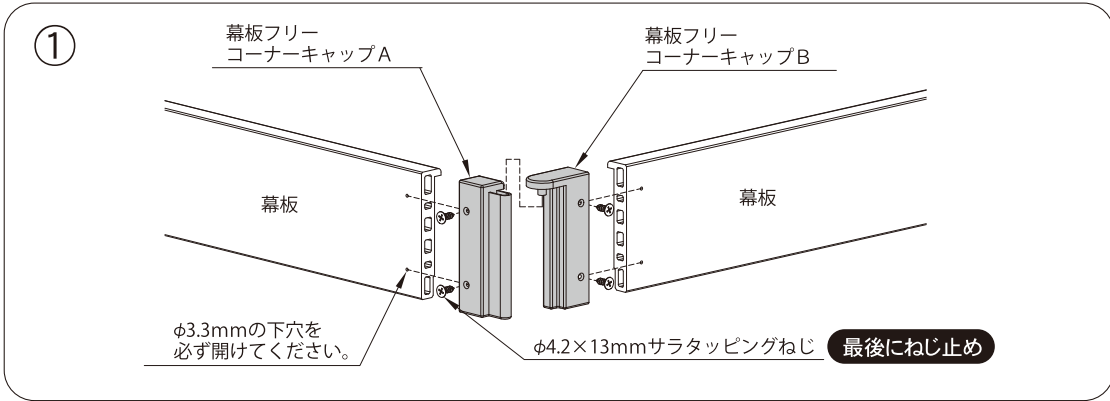
■幕板 90° (出隅用) コーナーの場合



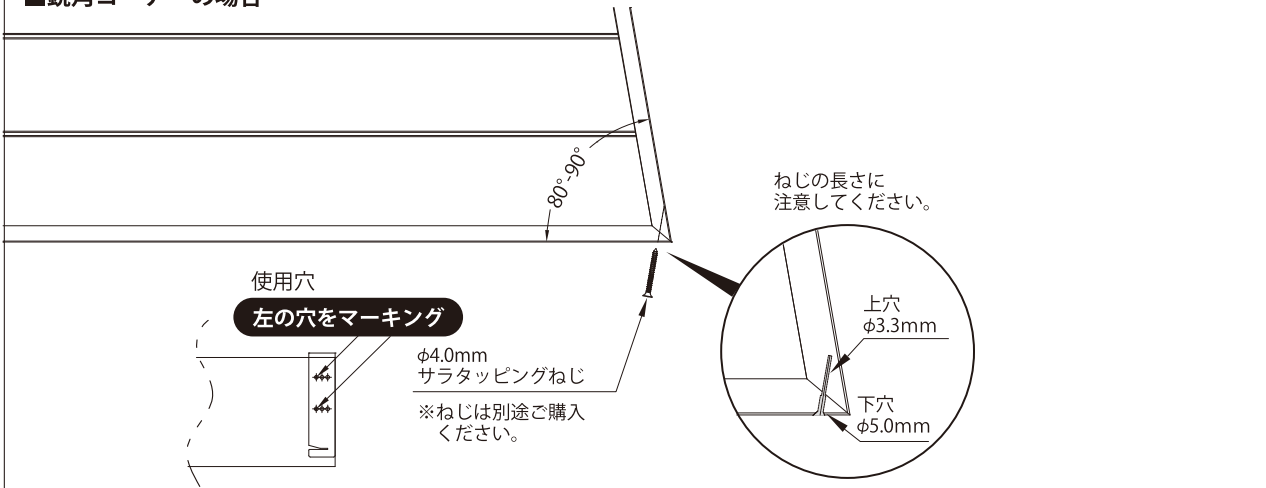
■幕板 90° (入隅用) コーナーの場合



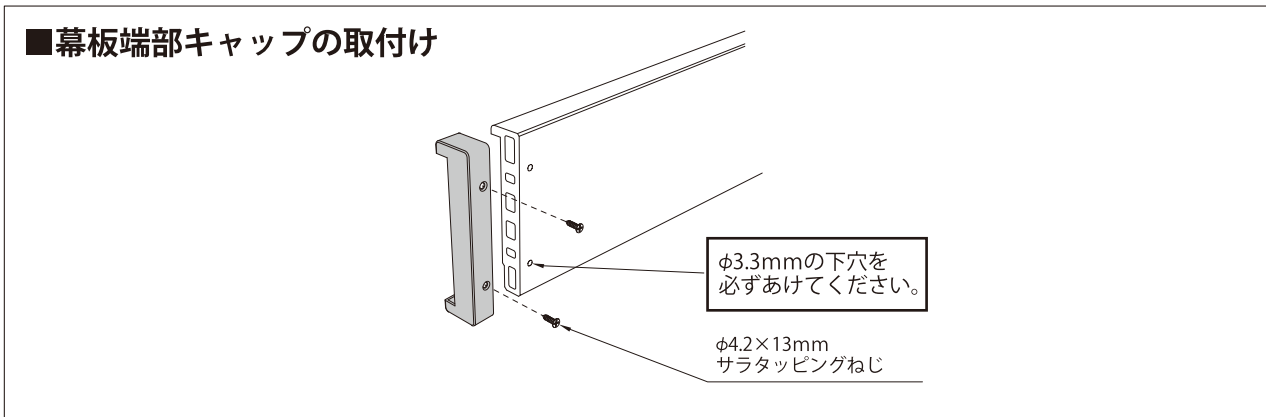
■フリーコーナーの場合



■鋭角コーナーの場合



■幕板端部キャップの取付け



14 くり貫き処理

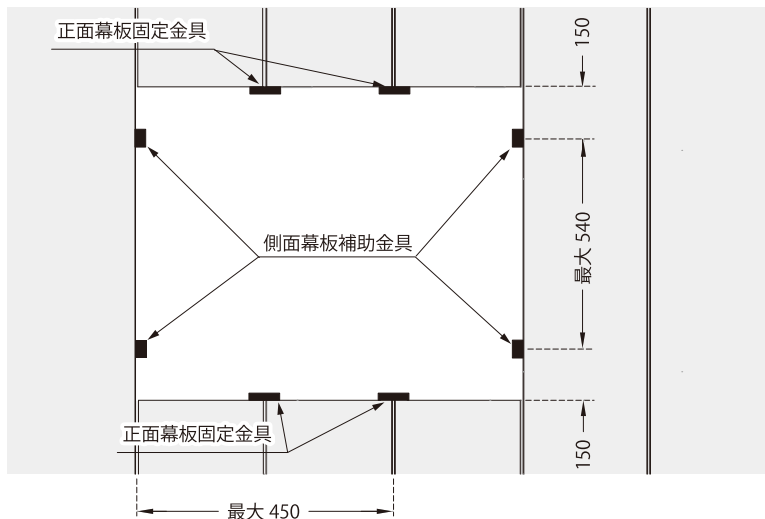
(単位: mm)

■くり貫き処理の手順

①幕板固定金具を取付けます。



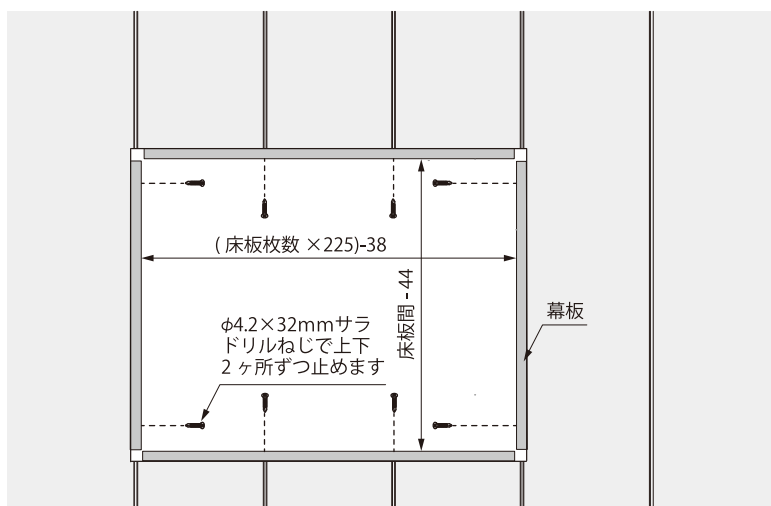
サイズが大きい場合
正面幕板固定金具は
端部および2枚毎に
取付けます。
側面幕板補助金具の
最大ピッチは540m
m以内です。



②幕板を取付けます。



くり貫き部の床板の
張出し寸法は、大引
の芯から200mm以
内としてください。



③幕板 90° (入隅用) コーナーキャップを取付けます。



幕板を45°カットの
突当て処理をする場
合は、固定金具の種
類や取付位置が異な
ります。



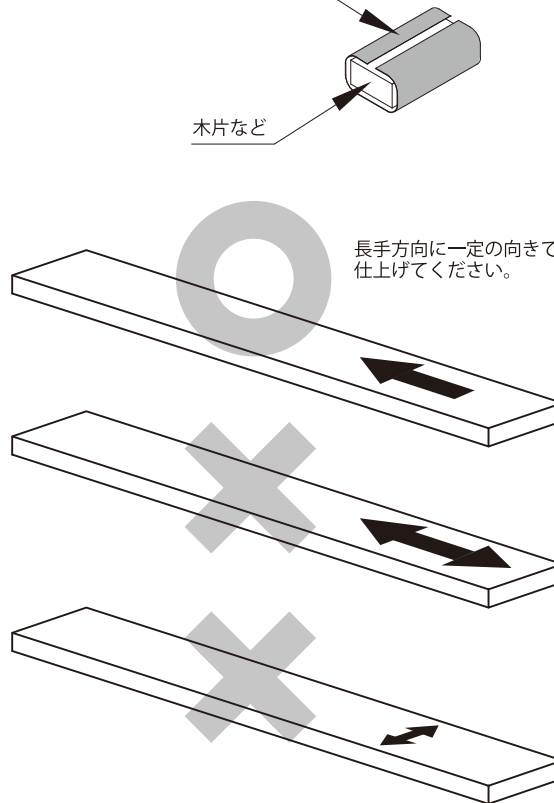
施工後、表面に付いた傷は付属の補修用サンドペーパーで長手方向に一定の向きで研磨し仕上げてください。(浅い傷の場合は市販のサンドペーパー #60 ~ 100 がおすすめです) 最後に削粉を清掃してください。



木片などの平らな部材にサンドペーパーを巻きつけ、サンドペーパーと人工木がフラットに当たるように研磨します。

補修用サンドペーパー

木片など



長手方向に一定の向きで研磨し仕上げてください。



強く研磨しすぎないでください。下地が出てしまう場合があります。1ヶ所を集中的に研磨するのではなく、補修ヶ所周辺を全体的にぼかす感じで研磨するのがポイントです。

販売店名

販売日 (お渡し日)

年

月

日

製造元



旭興進株式会社

20231005